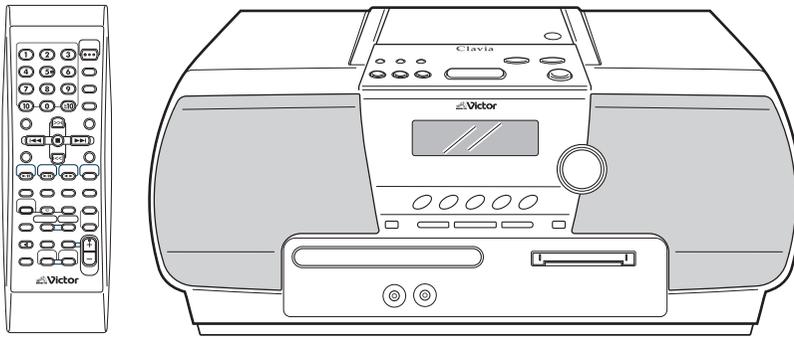
取扱説明書

CD-MDポータブルシステム

型名 RC-A1-S/-W
Clavia
クラビア

MDLP
デモ表示について

電源コードを家庭用コンセントに接続すると表示窓が点灯し、デモ表示になります。

デモ表示をしないようにするには、電源「切」のとき

本体の カラー/デモ
2秒以上押す

「DEMO CLEAR(デモクリア)」が表示されデモ表示の動作はしません。
この状態にしてからお使いください。

詳しくは ***11*** ページをご覧ください。

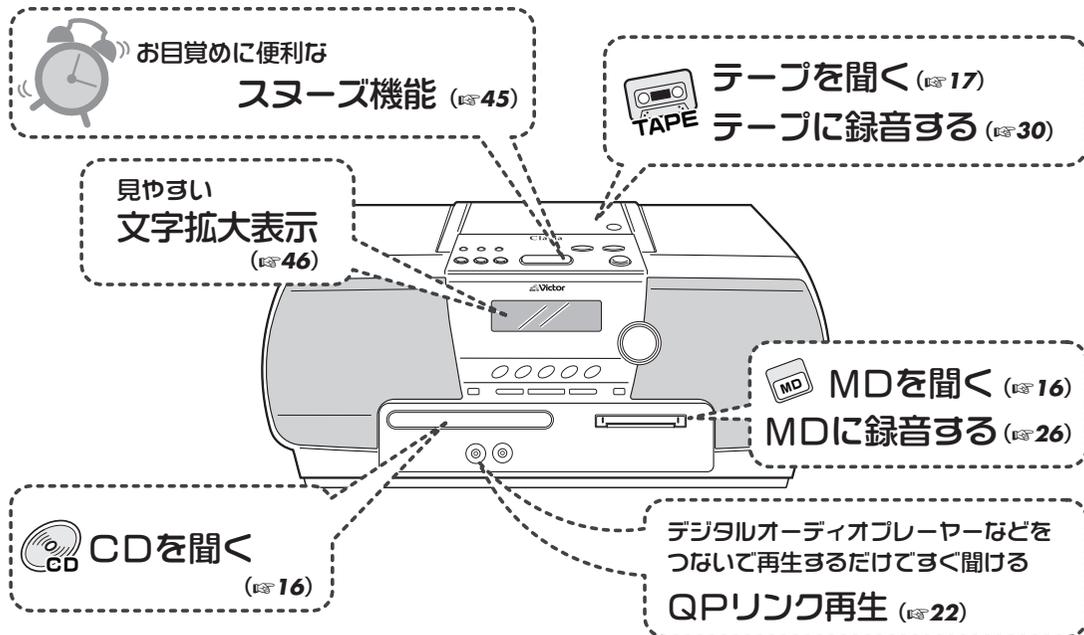
ーお買い上げありがとうございますー

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に *4* 〜 *6* ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

（Clavia **とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です**）

LVT1569-001A

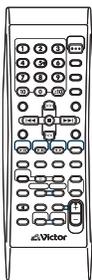
こんなことができます

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本文中のボタン名は、[ボタン名]で表示しています。ただし、数字ボタンは[数字ボタン]で、表示しています。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書で説明している以外の方法でも操作できる場合があります。

アイコンについて

- CD：音楽CDに関する操作説明
- MD：MDに関する操作説明
- TAPE：カセットテープに関する操作説明
- ラジオ：FM、AMラジオ放送に関する操作説明
- LINE：LINE端子に接続した機器に関する操作説明
- ☞：参照するページを示す

付属品の確認

リモコン（1個）
RM-SRCA1-S：RC-A1-S用
RM-SRCA1-W：RC-A1-W用

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ（1個）

もくじ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止　水場での使用禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。
次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

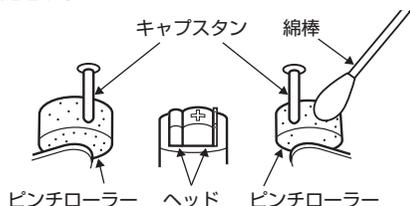
本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

- 市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

ヘッドホンについて

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

- ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

CDとCD-R/CD-RWについて

CDについているマークを確認して

文字のある面に、COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RWディスクを作成するときは、ディスクフォーマットを「ISO 9660」にしてください。また、パケットライト方式(UDFフォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- MP3などの音声ファイルの再生または、CDテキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

各部の名前

本体

カラー/デモボタン（☞11、47）
録音モードボタン（☞26〜29）
録音スピードボタン（☞26）
MD録音ボタン（☞26〜29）
TAPE録音ボタン（☞30、31）
文字サイズ標準/拡大ボタン（☞46）
リモコン受光部
ソース（音源）切換ボタン
CD（▶/❚❚）
MD（▶/❚❚）
TAPE（◀ ▶）
FM/AM
LINE
CD（⏏）取出しボタン（☞16）
CD トレイ（☞16）
LINE IN/OUT 端子（☞10、11）
表示窓（下記参照）
カセットホルダー
時計表示/スヌーズボタン（☞45、46）
αサウンドボタン（☞13）
テープ（⏏）取出し部（☞17）
サウンドリフターボタン（☞13）
電源ボタン（☞13）
音量つまみ（☞13）
MD（⏏）取出しボタン（☞16）
MD挿入口（☞16）
マルチコントロールボタン
CD、MD、テープ（☞26〜30）
ラジオ（☞14）
⏮/⏭（曲の頭出し·早送り/早戻し）
■（停止）

表示窓（ディスプレイ）

プログラム表示（☞20）
スヌーズ表示（☞45）
スリープタイマー表示（☞42）
タイマーモードの表示（☞42、43）
リバースモード表示（☞17、28）
テープ走行方向（☞17、28）
FMステレオ表示（☞14）
ランダム表示（☞19）
スーパーバスプロ表示（☞13）
グループ表示（☞19）
FMモノラル表示（☞14）
タイトルサーチ表示（☞21）
リピート表示（☞18）
MDの
録音時間表示
倍速録音表示
グループ録音表示
サウンドリフター表示（☞13）
文字情報表示部
αサウンド表示（☞13）
QPリンク表示（☞22）
オートスタンバイ表示（☞46）

CD表示（☞16）
CD：停止中点灯
再生中、一時停止中点滅

MD表示（☞16）
MD：停止中点灯
再生中、録音中点滅、一時停止中点滅
REC：MD録音中点滅

TAPE表示（☞17）
TAPE：停止中点灯
再生中、録音中点滅
REC：テープ録音中点滅

リモコン（RM-SRCA1）

数字（1～10、0、≧10）ボタン
（☞12、15、18、20、32～38、43、44）

オートプリセット（0）ボタン
（☞15）

タイトル/編集ボタン
（☞32～37）

グループタイトル/編集ボタン
（☞38～41）

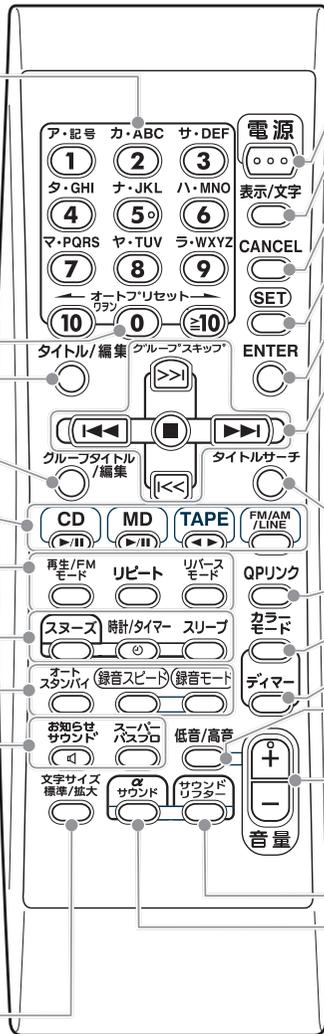
ソース（音源）切換ボタン
（☞14、16～22）

再生/FMモードボタン（☞14、19、20）
リピートボタン（☞18）
リバースモードボタン（☞17、28）

スヌーズボタン（☞45）
時計/タイマーボタン（☞12、42）
スリープボタン（☞42）

オートスタンバイボタン（☞46）
録音スピードボタン（☞26）
録音モードボタン（☞26～29）

お知らせサウンドボタン（☞13）
スーパーバスプロボタン（☞13）

文字サイズ標準/拡大ボタン（☞46）

電源ボタン（☞13）

表示/文字ボタン
（☞12、15、23、27、29、31、32）

キャンセル（CANCEL）ボタン
（☞20、33、34、36、37、42、43、44）

セット（SET）ボタン（☞12、32～44）

エンター（ENTER）ボタン（☞32～41）

グループスキップボタン（>>I、I<<）
（☞17～19、32）

マルチコントロールボタン
CD、MD、テープ（☞26～31）
ラジオ（☞14）
I◀◀/▶▶I（曲の頭出し、早送り/早戻し）
■（停止）

タイトルサーチボタン（☞21）

QPリンクボタン（☞22）

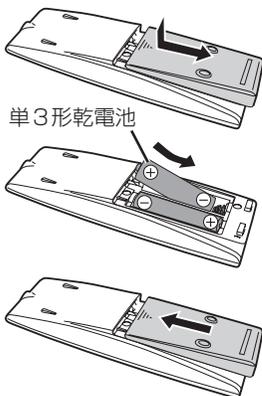
カラーモードボタン（☞47）

ディマーボタン（☞47）

低音/高音ボタン（☞13）

音量ボタン（☞13）

サウンドリフターボタン（☞13）
αサウンドボタン（☞13）

リモコンの乾電池の入れかた

リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。
（－）側から先に入れてください。

ご注意

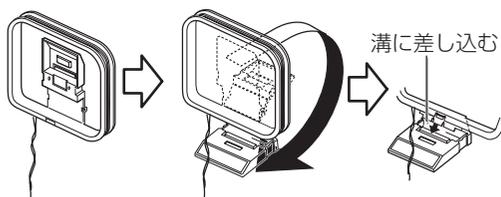
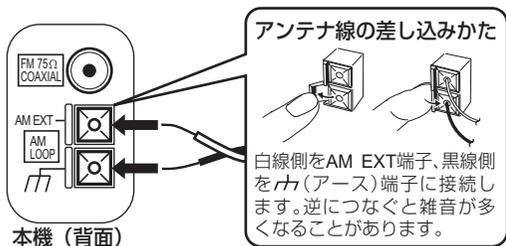
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「**安全上のご注意（☞6）**」をお読みの上、正しくお取り扱いください。

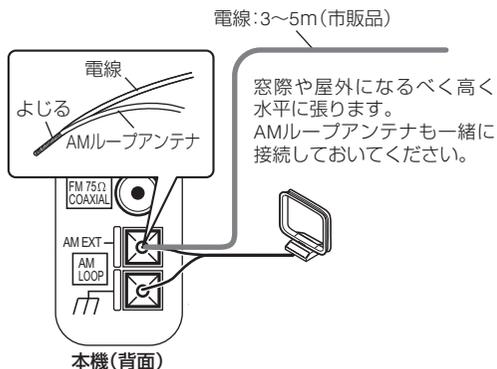
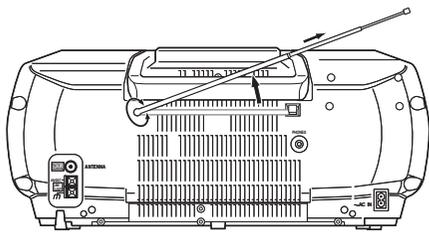
リモコンの操作

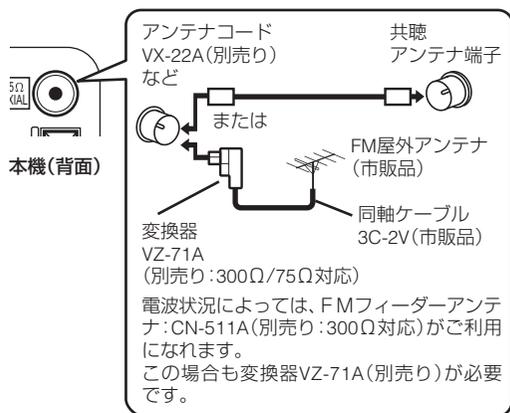
- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

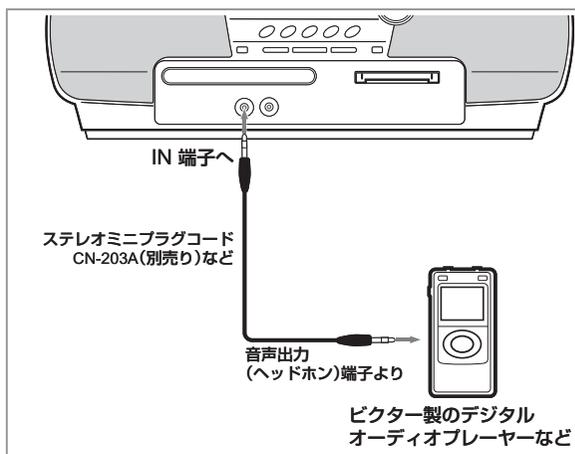
AMアンテナの接続と調節

1. AMループアンテナ(付属品)を組み立てます。

2. アンテナ線を接続します。

3. AMループアンテナを左右に回して最も受信状態のよい方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

■ AMループアンテナではうまく受信できないとき

FMアンテナの調節

ロッドアンテナを伸ばして、最もよく受信できるように長さ、角度を調節します。

■ ロッドアンテナではうまく受信できないとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

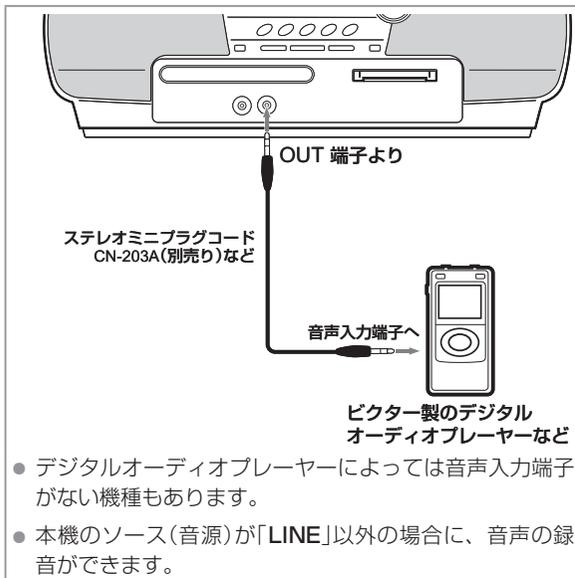
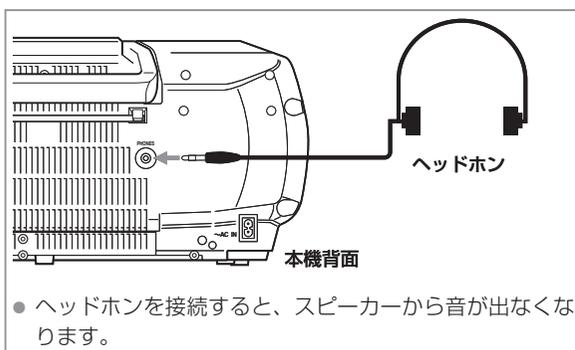
LINE IN端子の接続

本機でデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器の音声を聞くときに、市販のステレオミニプラグコードで接続します。

LINE OUT端子の接続

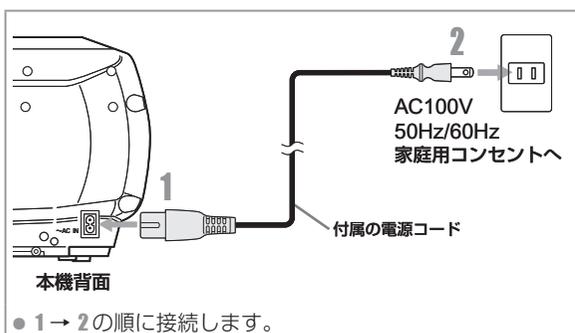
本機の音声をデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器に録音するときに、市販のステレオミニプラグコードで接続します。

- デジタルオーディオプレーヤーによっては音声入力端子がない機種もあります。
- 本機のソース（音源）が「LINE」以外の場合に、音声の録音ができます。

ヘッドホンの接続

市販のヘッドホンを接続します。

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

電源コードの接続

すべての接続が終了してから接続してください。

- **1** → **2** の順に接続します。

お知らせ

- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325A(黒)をお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力を消費します）

ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外の機器には使用しないでください。
- 本機を持ち運びするときは
  電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前にはずし、ハンドルを持って運んでください。
  特にFM用屋外アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が20分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

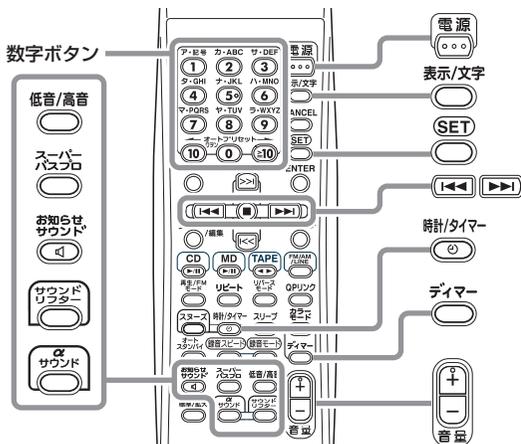
表示窓のデモ表示について

本機ではデモ表示機能があり、電源コードをコンセントに接続すると自動で電源「入」になり「HELLO → DEMO START!」表示のあと本機の機能などが表示窓に表示されます。本機のいずれかの操作をすると、表示窓に「DEMO OFF」と表示され、デモ表示は解除されます。この場合、電源コードを抜き差ししたり停電があったときは、再びデモ表示になります。

デモ表示の動作に入らなくするには

（通常はこの状態でお使いください）

1. [電源] を押して電源を「切」にする
2. 本体の [カラー／デモ] を2秒以上押す
   - 「DEMO CLEAR」が表示され、電源コードを抜き差ししてもデモ表示には入らなくなります。
   - デモを表示させるときは、もう一度同じ操作をします。

基本操作

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの場合でも操作できます。

1 時計/タイマー を押す

0:00 SUN.

2 「時」を合わせる

⏮ または ⏭ を押して選ぶ

13:00 SUN.

- 押し続けると、時刻表示が連続して変わります。
- 時刻は[数字ボタン]でも合わせることができます。右下の「**数字ボタンの使いかた**」をご覧ください。

3 設定する

SET を押す

13:00 SUN.

- 点滅が「**分**」に移動します。

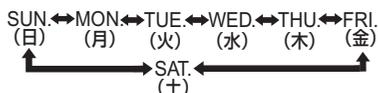
4 「分」を合わせ、設定する

- 手順2、3と同じ操作で設定します。
- 点滅が「**曜日**」に移動します。

5 「曜日」を合わせ、設定する

⏮ または ⏭ を押して選ぶ

- 曜日は次のように変わります。

SUN.↔MON.↔TUE.↔WED.↔THU.↔FRI.
(日)　(月)　(火)　(水)　(木)　(金)
↔ SAT.(土)

6 設定する

SET を押す

- 設定した「**分**」の0秒から時計が動き始めます。

時刻を音で確認する

電源「切」のとき ディマー を押す

- お知らせサウンドが「**ON**」のとき、時刻を音階と音の回数でお知らせします。
  「**お知らせサウンドを設定する**」(☞*13*)
- 音の種類は3種類あります。

長い音　　　　：「**0**」を示します
短い音　　　　：「**1〜4**」を示します
短い連続5音　：「**5**」を示します。「**6**」以上は、この音の後に短い音が続きます。

例：時刻表示が「9:35(午前9時35分)」のとき
　4ケタの数「0935」とみなします。

「**0**」…長い音　(ド)
「**9**」…短い連続5音+短い音4回　(ミ)
「**3**」…短い音3回　(ソ)
「**5**」…短い連続5音　(ド)

時計を合わせ直すには

[時計/タイマー]を5回押す

- 時計を表示させ、手順2から操作します。

使用中に時計を表示させるには

[表示/文字]を繰り返し押す

- MDが入っているときと、入っていないときで表示の順番が異なります。(☞*23*)

本体の[時計表示/スヌーズ]を押す

- 約5秒表示します。

お知らせ

- 時計を合わせているとき、2分以上なにも操作をしないと設定前の表示に戻ってしまいます。
- 電源「**切**」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻と曜日の表示に変わります。
- 時計を合わせているとき、[CANCEL]を押すと「**時**」または「**分**」表示の点滅に戻せます。時刻を修正することができます。
- 月に1分程度のズレを生じます。定期的に時計を合わせ直してください。
- 20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは、時刻表示が取り消されます。このようなときは、時計を合わせ直してください。

数字ボタンの使いかた

1〜10のとき　：①から⑩を押す
11〜のとき　　：≧10を押してから①〜⑨、⓪を押す

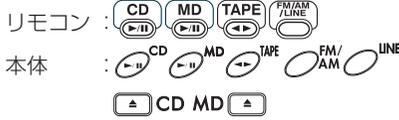
例　3：③
　13：≧10→①→③
　20：≧10→②→⓪

電源を入れる/切る

を押す

- 電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン：CD MD TAPE FM/AM/LINE

本体：CD MD TAPE FM/AM LINE

CD MD

本体の[CD(▲)]/[MD(▲)]以外を押したときはソース(音源)も切り換わります。ディスクやテープが入っているときは、再生が始まります。

音量を調節する

を押す

- 本体の[音量つまみ]を回しても調節できます。
- VOLUME 0〜35の範囲で調節できます。

音質を調節する

低音/高音 を押す

- 押すごとに切り換わります。

BASS 0：低音を調節できます。
↓
TREBLE 0：高音を調節できます。
↓
ソース(音源)の表示

4秒以内に

を押す

- −5〜+5の範囲で調節できます。
- 4秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

重低音を強調する

を押す

- 押すごとに切り換わります。

S. BASS ON(お買い上げ時の設定)
↕
S. BASS OFF

- 「ON」のとき表示窓にが表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

お知らせサウンドを設定する

ボタン操作の確認音や、録音終了音、編集時のエラー音などが鳴ります。

お知らせサウンド を押す

- 押すごとに切り換わります。

オシラセ サウンド OFF：確認音は鳴りません。
↕
オシラセ サウンド ON：確認音が鳴ります。(お買い上げ時の設定)

- 確認音は、音量を"0"にしていたり、ヘッドホンを接続していても鳴ります。

サウンドリフターを使う

音像を上方向に拡大するとともに、臨場感ある再生音が楽しめます。

を押す

- 押すごとに切り換わります。

S.LIFTER 1：CDなどの音楽向き
S.LIFTRT 2：1より音像を拡大したいとき
S.LIFTER 3：2より音像を拡大したいとき
S.LIFTER OFF：サウンドリフター解除

- 「OFF」以外のとき表示窓にSOUND LIFTERが表示されます。

お知らせ

- 再生するソース(音源)によっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは別のモードを選ぶかサウンドリフターを解除してください。

α(アルファ)サウンドを使う

αサウンドで広がりのある音が楽しめます。

αサウンド を押す

- 押すごとに切り換わります。

α SOUND NATURAL(ナチュラル)：自然な音の広がりを実現します。
α SOUND SMOOTH(スムース)：耳に快い音を実現します。
α SOUND DEEP(ディープ)：さらに深い音の広がりを実現します。
α SOUND OFF(オフ)：αサウンドを解除します。

- 「OFF」以外のとき表示窓に α SOUND が表示されます。

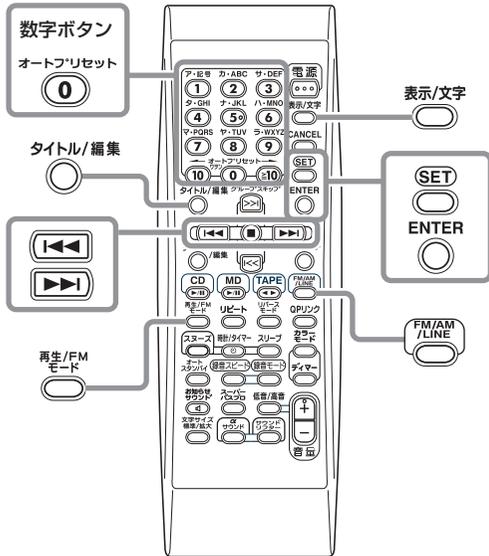
αサウンドとは

α(アルファ)波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サウンド回路の要である左右差信号(L-R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLFO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

お知らせ

- サウンドリフターとαサウンドは、同時に設定することはできません。
  どちらかを設定すると、片方は自動解除(OFF)されます。
- サウンドリフター、αサウンド機能は、録音される音声に影響しません。

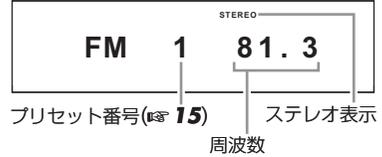
ラジオを聞く

FMまたはAMを受信することができます。

放送局を選ぶ

1 「FM」または「AM」を選ぶ

 を繰り返し押して選ぶ

（例：FM放送を受信中の場合）

プリセット番号(☞**15**)　周波数　ステレオ表示

2 聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

マニュアル選局

[⏮] または [⏭] を繰り返し押して選ぶ

本体のボタンで選ぶとき

1. [■] を押して、「MANUAL TUNING」を選ぶ
   - 押すごとに「MANUAL」と「PRESET」が交互に表示されます。
2. [⏮] または [⏭] を繰り返し押す

オート選局

[⏮] または [⏭] を押し続ける

- 押し続けて周波数が変わり始めたら離します。放送を受信すると自動で止まります。
- 途中で止めたいときは、[⏭] または [⏮] を押します。

FMステレオ放送について

- FMステレオ放送を受信すると「STEREO」表示が点灯します。

FMモードの切り換え

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラル（「MONO」が点灯）にします。モノラル音声にすると、聞きやすくなることがあります。モードは［再生/FMモード］を押すごとに切り換わります。

FM MONO
↕
FM AUTO

- 本機は、テレビチャンネルの音声を受信することはできません。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。
- ロッドアンテナや付属のAMループアンテナでうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。(☞**10**)

放送局を記憶させる(プリセット)

FMを最大30局、AMを最大15局まで記憶させることができます。FMとAMはそれぞれに操作します。

オート(自動)プリセット

FMまたはAMを受信中に

オートプリセット (0) を2秒以上押す

- 「AUTO PRESET」が表示されます。
- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶された放送局であっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。
- オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ

- FM放送のオートプリセットは、76.0 MHzから90.0 MHzの間で自動選局し、記憶します。
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル(手動)プリセット

1 プリセットしたい放送局を受信中に

を押す

- プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 プリセット番号が点滅している間に、記憶させたい番号を[数字ボタン]で入力する

- 「数字ボタンの使いかた」(☞*12*)

3 選んだ番号が点滅している間に

SET を押す

- 「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

- FMモード(☞*14*)も記憶されます。
- 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。

放送局を呼び出す(プリセット選局)

記憶した放送局を呼び出します。

FMまたはAMを受信中に、[数字ボタン]を押す

- 呼び出したい放送局のプリセット番号を入力します。
- 「**数字ボタンの使いかた**」(☞*12*)

本体のボタンで選ぶとき

1. **[■]を押して、「PRESET TUNING」を選ぶ**
   - 押すごとに「MANUAL」と「PRESET」が交互に表示されます。
2. **[|◀◀]または[▶▶|]を押して、放送局のプリセット番号を選ぶ**

放送局名を入力する

プリセット選局で受信中の放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

準備

- 「**放送局を呼び出す**」(上記)で、局名を入力したい放送局を選びます。

1 タイトル/編集 を押す

2 文字の種類を選ぶ

表示/文字 を押す

- 押すごとに[ ]が移動します。

3 局名を入力する

- 入力方法は「**文字入力のしかた**」をご覧ください。(☞*33*)
- 手順2、3を繰り返します。

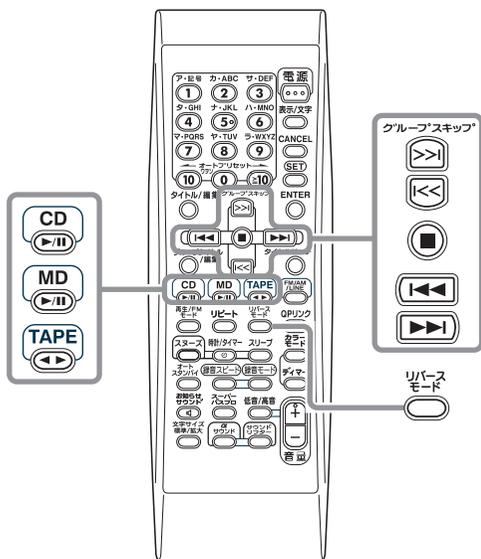
4 登録する

を押す

- 「STORED」と表示され、入力した局名が表示されます。

お知らせ

- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

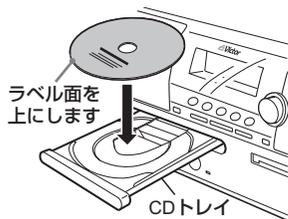
聞く

お知らせ

再生可能ディスク	音楽CD、CD-R/RW

- MP3、WMAファイルは再生できません。
- ディスクが入っている状態で表示窓に「CAN NOT PLAY」と表示されたときは、☞51をご覧ください。

CDを聞く

準備

- 本体の[CD(▲)]押してCDトレイを出します。
- CDをCDトレイに置き、[CD(▲)]を押してCDトレイを閉じます。

8cmセンチCDは内側の凹部に置きます。

CD を押す

- 1曲目から再生し、全部の曲の再生が終わると自動停止します。

■ 再生中の表示

再生を途中で停止する には

■ を押す

■ 停止中の表示

MDを聞く

準備

- 電源を「入」にしてMDを挿入します。

電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

MD を押す

- 1曲目から再生し、全部の曲の再生が終わると自動停止します。

■ 再生中の表示

- 曲タイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。(長いタイトルはスクロールされます)
- グループ分けされていないときは、グループ番号が「G ––」と表示されます。
- MD表示が点灯または点滅しているときは、新しいMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因になります。

再生を途中で停止するには

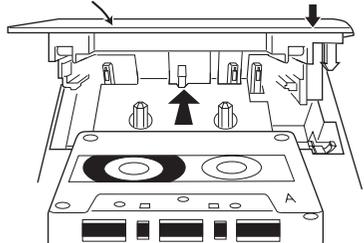
■ を押す

■ 停止中の表示

- ディスクタイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。(長いタイトルはスクロールされます)
- グループ分けされていないときは、総グループ数が「G ––」と表示されます。

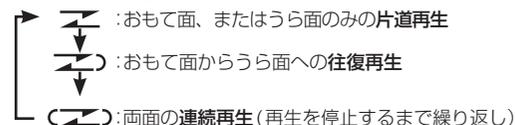
テープを聞く

準備

- 本体のテープ(▲)取出し部を押して、カセットホルダーを開きます。
- 再生したい面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

ノーマルテープを入れる

- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、テープ(▲)取出し部を押して「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

- 押すごとに切り換わります。

:おもて面、またはうら面のみの**片道再生**
:おもて面からうら面への**往復再生**
:両面の**連続再生**(再生を停止するまで繰り返し)

TAPE を押す

- または で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。
- [TAPE◀▶] を押すごとに、テープ走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面)から**走行します。
- テープの順方向再生中は右向き(▶)のテープ走行方向が、テープの逆方向再生中は左向き(◀)のテープ走行方向が表示されます。

<u>再生を途中で停止するには</u>

(■) を押す

- テープを取り出すときは、必ず [■] を押して再生を止めてから本体のテープ(▲)取出し部を押し、カセットホルダーを開けてください。カセットホルダーを開けるとテープカウンターは「0000」になります。

その他の操作

■ CD、MDのとき

一時停止する 再生中に CD、MD を押す。
- もう一度押すと再生を再開します。

頭出し(スキップ) ⏮:押すごとに前の曲の頭に戻ります。再生中に押すと、その曲の頭に戻ります。
⏭:押すごとに次の曲の頭に移ります。

早送り・早戻し(サーチ) ⏮: ⏭: 再生中に押し続ける。

グループスキップ I<<:押すごとに前のグループに戻ります。(MDのみ)
>>I:押すごとに次のグループに移ります。(MDのみ)

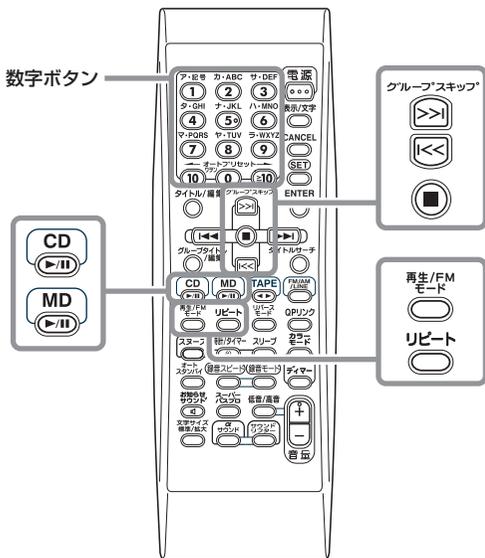
ディスクを取り出す 本体の [CD(▲)] または [MD(▲)] を押す。

■ テープのとき

早送り・早戻し(サーチ) ⏮: ⏭: 押す。
- 走行方向が順方向(▶)のときは、⏭ が早送り、⏮ が巻き戻しになります。
- 走行方向が逆方向(◀)のときも、⏭ が早送り、⏮ が巻き戻しになります。

お知らせ

- **本機はノーマルテープ(TYPE I)の再生に対応しています。**ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。
- テープのお取り扱いについては、「**カセットテープの取り扱いかた**」(☞**49**)をご覧ください。

聞く（つづき）

聞きたい曲を指定する
（ダイレクト選曲）

曲番号を指定して再生できます。

［数字ボタン］を押す

- 聞きたい曲を選びます。
- 「**数字ボタンの使いかた**」（☞***12***）

リピート再生

聞きたい曲を繰り返し再生することができます。

停止中または再生中にリピートモードを選ぶ

リピート を繰り返し押す

（例：REPEAT ALLのとき）　リピート表示

REPEAT
ALL

- 押すごとに切り換わります。

REPEAT TRACK（↻）：1曲を繰り返し再生します。

REPEAT ALL（↻ALL）：全曲を繰り返し再生します。MDの「**グループ再生中**」（☞***19***）は、選ばれているグループの全曲を繰り返し再生します。

REPEAT OFF：リピート再生を解除します。

- 本体の［CD（▲）］または［MD（▲）］を押したり、電源を「**切**」にしてもリピート再生は解除されます。

ランダム再生

ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

CDのとき ： [CD ►/II] を押してから [■]を押す

MDのとき ： [MD ►/II] を押してから [■]を押す

2 「RANDOM」を選ぶ

[再生/FMモード] を繰り返し押す

(例：MDのとき)　ランダム表示

RAMDOM

MD　RANDOM

- CDのときは「CD RANDOM」と表示されます。

3 再生する

CDのとき ： [CD ►/II] を押す

MDのとき ： [MD ►/II] を押す

ランダム再生を解除するには

停止中に[再生/FMモード]を繰り返し押して、「RANDOM」表示を消す

- 本体の[CD(▲)]または[MD(▲)]を押したり、電源を「切」にしてもランダム再生は解除されます。

お知らせ

- 一度再生した曲は、再び選曲されません。
- CDとMDの曲を組み合わせてのランダム再生は、できません。

グループ再生

MD

お好みのグループだけ再生できます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

[MD ►/II] を押してから [■]を押す

2 停止中に「GROUP」を選ぶ

[再生/FMモード] を繰り返し押す

グループ表示

GROUP

MD　GROUP

3 聞きたいグループ番号を選ぶ

[グループスキップ >>I] または [I<<] を押す

- グループタイトルが最初に表示されます。(長いタイトルはスクロールされます)

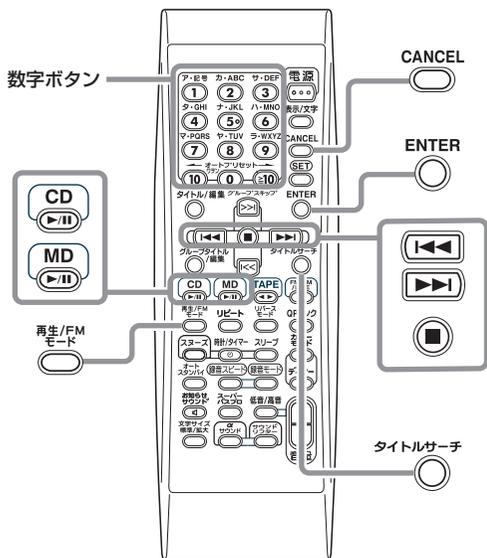
4 再生する

[MD ►/II] を押す

- 選んだグループ内の先頭の曲から再生が始まります。
- グループがないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。
- 選んだグループ内の曲がすべて再生されると、自動的に停止します。

グループ再生を解除するには

停止中に[再生/FMモード]を押して、「GROUP」表示を消す

- 本体の[MD(▲)]を押したり、電源を「切」にしてもグループ再生は解除されます。
- 再生中に[数字ボタン]を押してもグループ再生は解除されます。そのとき、押した曲番号の曲が再生されます。

プログラム再生

プログラム（予約）して再生できます。
CD、MDともに最大32曲までプログラム再生できます。

1 ソース（音源）を切り換え、停止状態にする

CDのとき ： [CD ►/II] を押してから[■]を押す

MDのとき ： [MD ►/II] を押してから[■]を押す

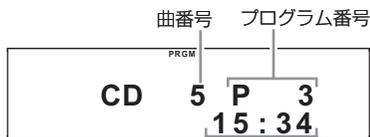
2 「PROGRAM」を選ぶ

[再生/FMモード] を押す

- MDのときは「MD PROGRAM」と表示されます。

3 曲番号を選ぶ

[数字ボタン] を押して、曲番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」（☞12）

- CDの場合、プログラムの総再生時間が1時間40分以上になると「--:--」と表示されます。
- MDの場合、プログラムの総再生時間が2時間31分以上になると「--:--」と表示されます。

4 再生する

CDのとき ： [CD ►/II] を押す

MDのとき ： [MD ►/II] を押す

お知らせ

- プログラムできる曲数は、32曲です。これ以上のプログラムはできません。プログラムしようとすると、「PROGRAM FULL」と表示されます。
- プログラムを間違えた場合、[CANCEL] を押すとプログラムした曲が削除されます。

プログラム内容を確認するには

プログラム再生の停止中に、[|◄◄] または [►►|] を繰り返し押す

- 押すごとにプログラム内容が変わります。ここでプログラムを追加（最後の曲に）したり、削除（最後の曲を）することもできます。

プログラム内容を追加するには

プログラム再生の停止中に、[数字ボタン] を押す

- 曲番号を選びます。

プログラム再生モードを解除するには

停止中に [再生/FMモード] を押して、「PRGM」表示を消す

- プログラム内容は削除されません。

プログラム内容を削除するには

停止中に [CANCEL] を押す

- プログラムの最後の曲が削除されます。
- [CANCEL] を押し続けるとすべて削除されます。
- 本体の[CD(▲)]または[MD(▲)]を押したり、電源を「切」にしてもすべて削除されます。また、プログラム再生も解除されます。

タイトルサーチ

MD

曲のタイトルをサーチ(検索)し、再生できます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

を押してから ■ を押す

2 タイトルサーチ を押す

[数字ボタン]を押してタイトルを入力する

タイトルサーチ表示

```
SEARCH
TITLE>█
 [ア]A a 1
```

- [表示/文字]で、文字の種類を選びます。(☞**32**の手順2をご覧ください。)
- 5文字まで入力できます。
  例:「F」と入力したときは「F」、「Frien」と入力したときは「Frien」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
- 入力方法は「**文字入力のしかた**」(☞**33**)をご覧ください。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)をサーチしたいときは、何も入力しません。

3 ENTER を押す

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。
  再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

お知らせ

- スペース(空白)も文字として扱われますが、スペース(空白)の後ろに文字がないときは無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

次の曲をサーチするには

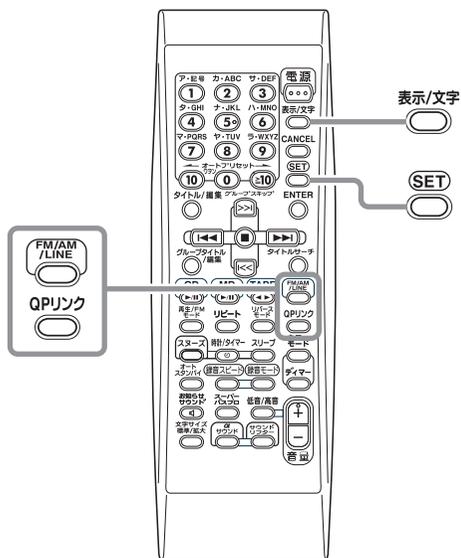
[►►I] を押す

- 「SEARCH」と表示され、次のタイトルサーチが始まります。

タイトルサーチをやめるには

[タイトルサーチ] を押す

- タイトルサーチが解除され、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。

```
SEARCH END
```

LINE接続した他の機器を聞く

準備
- LINE IN端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞*10*)

1 「LINE」を選ぶ

[FM/AM /LINE] を繰り返し押す

LINE

2 他の機器の再生を始める
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する
- 調節方法は「**基本操作**」(☞*13*)

音声入力レベルを調節する

LINE IN端子に接続された機器の音声入力レベルを調節することができます。
- ソース(音源)が「**LINE**」のとき操作します。

入力レベルが表示されるまで [SET] を押し続ける

LEVEL 1：LEVEL2でも音声入力レベルが大きいときに選びます。
LEVEL 2：LEVEL3で音声入力レベルが大きい時に選びます。
LEVEL 3：通常はこちらでお使いください。(お買い上げ時の設定)

QPリンク再生

QPリンク(Quick Portable Link)を使用すれば、LINE IN端子に接続した他の機器を再生するだけで、本機で聞くことができます。

準備
- LINE IN端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞*10*)

1 QPリンクモードを「ON」にする

[QPリンク] を押す

- 押すごとに切り換わります。

QP Link ON　：QPリンク有効
　　　　　　　(お買い上げ時の設定)
QP Link OFF ：QPリンク無効

QP Link ON

QPリンク表示

- 他の機器からの音声を検出できるときに、「**QP Link**」が点灯します。

2 他の機器の再生を始める
- ソース(音源)が「**LINE**」以外のときは、自動的に「**LINE**」に切り換わります。電源が「**切**」のときは「**入**」になります。

音声が入力されると表示します

- QPリンクでデジタルオーディオプレーヤーからの音声を聞いているときに他のソース(音源)を選ぶと、QPリンクが解除されます。このとき、30秒以上デジタルオーディオプレーヤーからの音声入力がない場合や、デジタルオーディオプレーヤーをLINE IN端子から抜き差しした場合にQPリンクが再度オンになります。
- QPリンクで他の機器からの音声を聞いているとき、電源を「**切**」にすると(タイマー機能による電源「**切**」も含む)、QPリンクは一時的に解除されますが、30秒以上他の機器からの音声入力がないと、再度QPリンクがオンになります。

お知らせ
- 他の機器を再生していないのにQPリンクが働くときは、**[QPリンク]**を2秒以上押して「**QP:LEVEL 2(低感度)**」に切り換えてください。元の設定「**QP：LEVEL1(高感度)**」(お買い上げ時)に戻すには、同じ操作をします。
- 録音中およびタイマー録音中はQPリンクは働きません。
- デジタルオーディオプレーヤーからの音声信号が弱いときは、QPリンクが働かないことがあります。このようなときは、デジタルオーディオプレーヤーの音量を上げて手順**2**の表示になることを確認してください。

表示窓の表示を変える

MDの録音残量時間が確認できます。
(ソース(音源)がMD以外のとき)

を押す

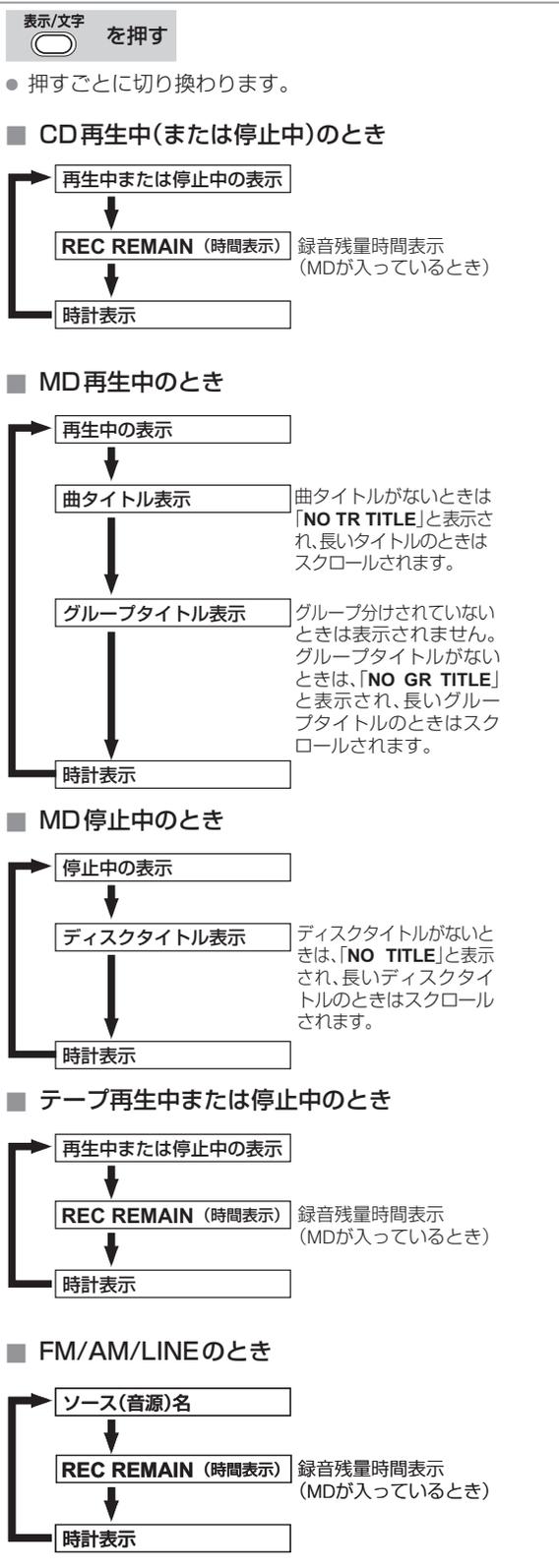
- 押すごとに切り換わります。

■ CD再生中(または停止中)のとき

■ MD再生中のとき

■ MD停止中のとき

■ テープ再生中または停止中のとき

■ FM/AM/LINEのとき

録音の前に

録音について

いろいろなソース(音源)を、MDやテープに録音できます。また、LINE接続したデジタルオーディオプレーヤーなどに録音することもできます。

ソース(音源) ＼ 録音先	MD	テープ	LINE接続機器 *2
CD(音楽CD)	○*1	○	○
MD	−	○	○
TAPE	○	○*3	○
FM/AM(ラジオ)	○	○	○
LINE(外部機器)	○	○	−

*1 録音スピードを「REC SPEED HIGH」に設定すると、倍速録音(最大5倍速)ができます。
*2 LINE接続機器への録音は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
*3 録音済みのテープの音を消すことができます。(「**録音済みのテープの音を消すには**」☞***31***)

MDへの録音について

- 録音時間モードのSP、LP2、LP4の曲を混在させて録音することもできます。
- 本機は、通常の2倍の時間で録音できるモノラル録音には対応しておりません。ただし、モノラルソース(音源)を録音時間の各モードで録音することはできます。

ご注意

- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器で再生すると「LP:」は表示されません。
  「LP:」をつけるかどうか設定することができます。(「LP:」表示設定 ☞***25***、***26***)

- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「DISC FULL」が表示されます。
- 録音するときは、本機が未録音部分を探して録音します。テープのように上書きで録音することはできません。
- 音楽CDの音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオやLINEの音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

お知らせ

- 録音残量時間は、そのときの録音に使われる録音時間モードに応じて異なります。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。

ご注意

- 録音中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に録音終了直後の「WRITING」(書き込み中)の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

テープへの録音について

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- 録音レベルは自動で調節されます。

ご注意

- ハイポジション(TYPE Ⅱ(タイプ))やメタルテープ(TYPE Ⅳ(タイプ))には対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。
- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

CD-R/CD-RWディスクの録音について

- CD-R/RW(デジタルオーディオ)の音声をMDに録音する場合、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」(☞***48***、***51***)が表示され自動で等速のアナログ録音に切り換わり、録音が始まります。
- 以下の操作でアナログ録音することもできます。
  本体の[MD録音]を4秒以上押して、「ANALOG REC ?」が表示されている間にもう一度[MD録音]を押します。

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- テープまたはFM/AM/LINEを録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。(トラックマークの設定 ☞***25***)

録音モードについて

録音するときの録音モードが設定できます。一度設定すると次回からは、変更するとき以外は設定する必要がありません。

MDに録音するときの録音モード

■ 録音時間(MDLPモード)

モード	内容	設定できるソース(音源)
MD REC TIME SP	標準ステレオ録音 (MD80で最大80分録音可能)	CD、TAPE、FM/AM/LINE FM/AM/LINEは別々に設定できません。
MD REC TIME LP2	2倍長時間ステレオ録音 (MD80で最大160分録音可能)	
MD REC TIME LP4	4倍長時間ステレオ録音 (MD80で最大320分録音可能)	

- モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- お手持ちのMD再生機(カーステレオやポータブルMDプレーヤーなど)がMDLPに対応していない場合はSPを選んでください。

■ トラックマーク

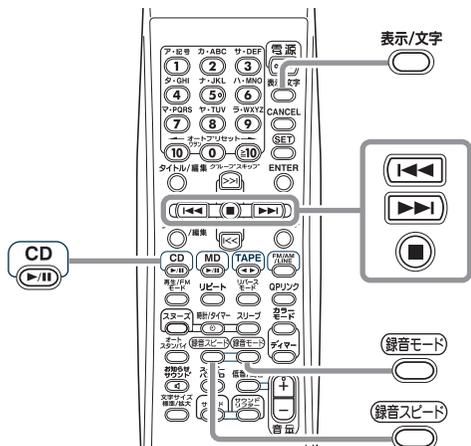
モード	内容	設定できるソース(音源)
MD MARKING MANUAL	録音中、[SET]を押したところにつきます。	TAPE、FM/AM/LINE 別々に設定できません。
MD MARKING TIME	5分間隔で自動的につきます。	
MD MARKING AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につきます。 [SET]を押してつけることもできます。	

■ グループ

モード	内容	設定できるソース(音源)
MD GROUP REC ON	グループとして録音します。	CD、TAPE、FM/AM/LINE 各ソース(音源)共通。
MD GROUP REC OFF	グループとして録音しません。	

■ 「LP:」表示

モード	内容	設定できるソース(音源)
MD(LP:) ON	MDLP非対応の機器で再生したとき、曲タイトルの頭に「LP:」がつきます。 (LP2またはLP4で録音のとき)	CD、TAPE、FM/AM/LINE 各ソース(音源)共通。
MD(LP:) OFF	「LP:」はつきません。	

MDに録音する

CDをまるごと1枚録音する

準備

- 録音用のMDを入れます。
  — 誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞**49**)
- 再生するCDを入れます。

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

 を押してから [■] を押す

2 録音時間のモードを設定する

[録音モード] を押す

録音時間を表示している間に

[⏮] または [⏭] を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD REC TIME SP (MD80で最大80分の録音)
↕
MD REC TIME LP2 (MD80で最大160分の録音)
↕
MD REC TIME LP4 (MD80で最大320分の録音)

- 最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- お手持ちのMD再生機がMDLPに対応していない場合は、SPを選んでください。

3 グループ録音の設定をする

[録音モード] を2回押す

グループ選択を表示している間に

[⏮] または [⏭] を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD GROUP REC ON グループ録音になります。
↕
MD GROUP REC OFF

4 「LP:」の表示設定をする

[録音モード] を3回押す

LP表示選択を表示している間に

[⏮] または [⏭] を押して選ぶ

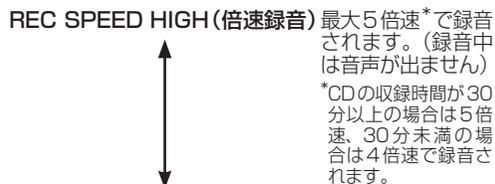
- 押すごとに切り換わります。

MD (LP:) ON
↕
MD (LP:) OFF

5 録音スピードを設定する

[録音スピード] を押す

- 押すごとに切り換わります。

REC SPEED HIGH(倍速録音) 最大5倍速*で録音されます。(録音中は音声が出ません)
*CDの収録時間が30分以上の場合は5倍速、30分未満の場合は4倍速で録音されます。
↕
REC SPEED NORMAL(等速録音)

- 録音される音質はどちらも同じです。

6 本体の [MD録音] を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

録音が終了したら

「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

[■] を押すと、「REC FINISH」が消えます。

録音を途中で停止するには

録音中に [■] を押す

- 「WRITING」→「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 手順2〜5で設定を変える必要がないときは、手順1と手順6で録音できます。
- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは、☞**48**、**51**をご覧ください。

1曲だけ録音するには

手順⑥の[MD録音]を押す前に、録音したい曲を再生する

- 曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。

途中の曲から最後の曲まで録音するには

手順⑥の[MD録音]を押す前に、[▶▶|]または[|◀◀]で曲番号を指定する

- 指定した曲から最後の曲まで録音を始めます。

プログラム録音するには

手順⑥の[MD録音]を押す前に、録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モード(☞20**の手順②、③)にする**

- CDを録音するときの録音スピードは、「REC SPEED NORMAL(等速)」を選んでください。「REC SPEED HIGH(倍速)」を選んで実行すると、「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され録音されません。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

[表示/文字]を押す

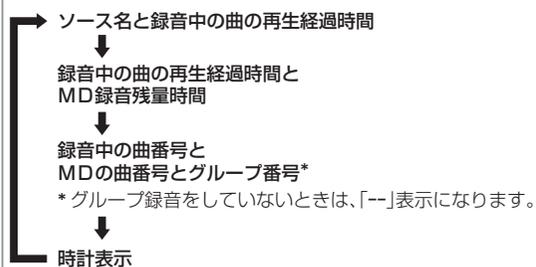
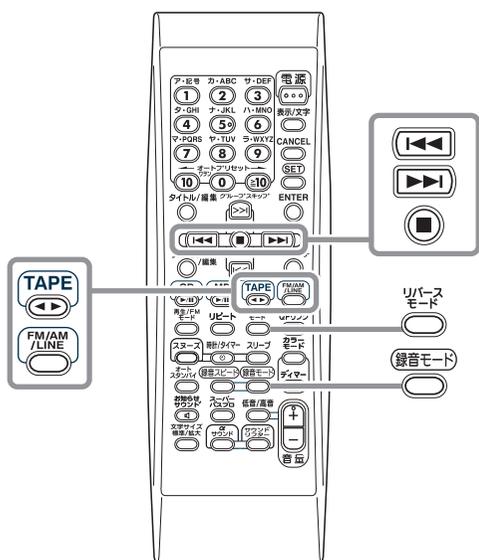
- 押すごとに、次のように切り換わります。

ソース名と録音中の曲の再生経過時間

録音中の曲の再生経過時間と
MD録音残量時間

録音中の曲番号と
MDの曲番号とグループ番号*

* グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。

時計表示

テープを録音する

準備

- 録音用のMDを入れます。
  ― 誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞*49*)
- 再生するテープを入れます。

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

[TAPE] を押してから [■] を押す

2 リバースモードを選ぶ

[リバースモード] を押して または を選ぶ

:片道のみ再生

:おもて面からうら面へ往復再生

3 録音モードを設定する

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞*26*)の手順2をご覧ください。

4 トラックマークの設定をする

[録音モード] を2回押す

トラックマークを表示している間に

[⏮] または [⏭] を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD MARKING MANUAL	録音中[SET]を押すとつく
MD MARKING TIME	5分間隔で自動的につく
MD MARKING AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につく [SET]を押してもつく

5 グループ録音の設定をする

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞*26*)の手順3をご覧ください。
  このとき[録音モード]は3回押します。

6 「LP:」の表示設定をする

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞*26*)の手順4をご覧ください。
  このとき[録音モード]を4回押します。

7 本体の [MD録音] を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

録音が終了したら

「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

[■]を押すと、「REC FINISH」が消えます。

録音を途中で停止するには

録音中に[■]を押す

- 「WRITING」→「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 手順2～6で設定を変える必要がないときは、手順1と手順7で録音できます。

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する　ラジオ LINE → MD

準備

- 録音用のMDを入れます。
  ー 誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞49)
- LINE接続機器から録音するときは、LINE IN端子に他の機器を接続します。(☞10)

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

を押す

ラジオのとき ：「FM」または「AM」を選び、選局する。
LINEのとき ：「LINE」を選び、他の機器の再生を準備する。他の機器の音声入力レベルを調節することもできます。(☞22)

2 録音時間のモードを設定する

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞26)の手順2をご覧ください。

3 トラックマークの設定をする

[録音モード] を2回押す

トラックマークを表示している間に

[⏮] または [⏭] を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD MARKING MANUAL	録音中[SET]を押すとつく
↕	
MD MARKING TIME	5分間隔で自動的につく
↕	
MD MARKING AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につく [SET]を押してもつく

4 グループ録音の設定をする

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞26)の手順3をご覧ください。
  このとき[録音モード]は3回押します。

5 「LP:」の表示設定をする

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞26)の手順4をご覧ください。
  このとき[録音モード]を4回押します。

6 本体の [MD録音] を押す

- LINE接続機器からの録音の場合は、「LINE→MD」と表示されるのを待って、接続した機器の再生を始めてください。

録音が終了したら

「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

[■]を押すと、「REC FINISH」が消えます。

録音を途中で停止するには

録音中に[■]を押す

- 「WRITING」→「REC FINISH」が表示されます。

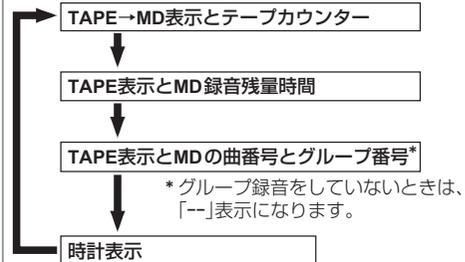
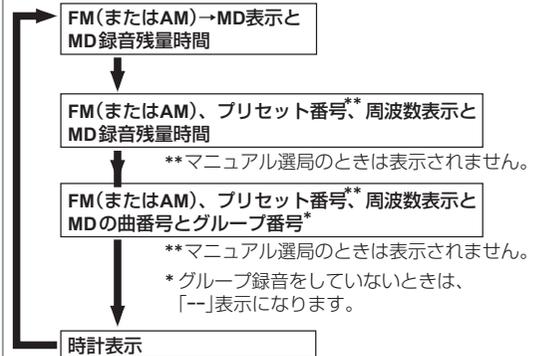
録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

[表示/文字]を押す

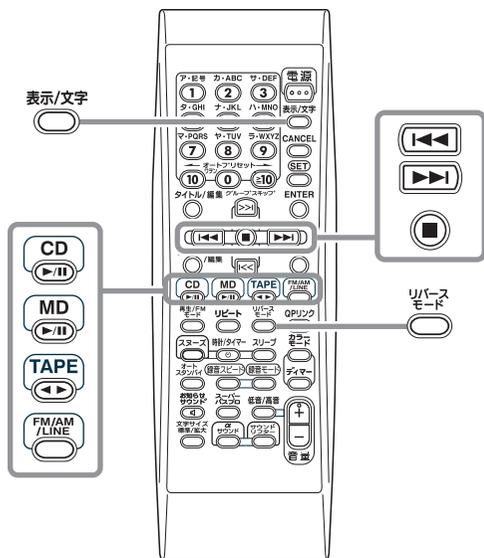
- 押すごとに、次のように切り換わります。

■ TAPEを録音中のとき

■ ラジオ放送を録音中のとき

FM(またはAM)→MD表示とMD録音残量時間
↓
FM(またはAM)、プリセット番号**、周波数表示とMD録音残量時間
**マニュアル選局のときは表示されません。
↓
FM(またはAM)、プリセット番号**、周波数表示とMDの曲番号とグループ番号*
**マニュアル選局のときは表示されません。
*グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。
↓
時計表示

■ LINE接続した他の機器を録音中のとき

- 手順2〜5で設定を変える必要がないときは、手順1と手順6で録音できます。
- 録音中に本体の[MD録音]を押すと、一時停止ができます。このときトラックマークがつきます。録音を再開するには、[MD録音]をもう一度押します。

テープに録音する

CD、MD、ラジオまたはLINE接続機器の音声を録音する

CD MD ラジオ LINE → TAPE

準備

- 録音用のテープを入れます。
  — リーダーテープは巻き取っておきます。
- CDを録音するときは、再生するCDを入れます。
- MDを録音するときは、再生するMDを入れます。

1 リバースモードを選ぶ

リバースモード を押して または を選ぶ

：片道のみ再生

：おもて面からうら面へ往復再生

2 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

CDのとき	：	CD を押してから ■ を押す
MDのとき	：	MD を押してから ■ を押す
ラジオのとき	：	FM/AM /LINE を押して「FM」または「AM」を選び、選局する。
LINEのとき	：	FM/AM /LINE を押して「LINE」を選び、他の機器の再生を準備する。

3 本体の TAPE録音 を押す

(例：CDから録音のとき)

リバースモード表示

CD → TAPE
REC 0010

テープカウンター

- CDまたはMDを録音する場合、再生開始と同時に録音がスタートします。(シンクロ録音)
- 他の機器を録音する場合は、接続した機器の再生を始めます。

録音が終了したら

「REC FINISH」と表示されます。

[■] を押すと、「REC FINISH」が消えます。

録音を途中で停止するには

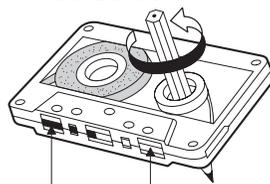
録音中に [■] を押す

- 「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- ソース(音源)がCDまたはMDのときは、曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。ブランクを作らずに録音することもできます。(「**曲間にあき(ブランク)を作らずに録音するには**」☞***31***)
- 誤消去防止用のツメ(タブ)が折れていると、録音状態にはなりません。(☞***49***)
- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。
- 録音中に曲の途中でテープが反転したときは、再生中の曲がもう一度頭から裏面へ録音されます。ただし、裏面への録音時間が12秒以下の場合は、再生中の一つ前の曲の頭から裏面に録音されます。
- リバースモードを にして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は が表示窓に表示されます。
- 生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能(☞***34***)を使ってテープ片面の長さに合わせ、2曲に分けてください。

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきます。

1曲だけ録音するには

手順③の[TAPE録音]を押す前に、CDまたはMDの録音したい曲を再生する

- 曲の頭に戻りその曲だけが録音されます。

途中の曲から最後の曲まで録音するには

手順③の[TAPE録音]を押す前に、[▶▶|]/[|◀◀]でCDまたはMDの曲番号を指定する

- 指定した曲から最後の曲まで録音を始めます。

プログラム録音するには

手順③の[TAPE録音]を押す前に、CDまたはMDの録音したい曲をプログラムし、プログラムモード(☞ *20* の手順②、③)にする

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音するには

手順③の[TAPE録音]を押す前にCDまたはMDを一時停止する(☞ *17*)

- 一時停止した曲から録音を始めます。
- 曲の始まりや終わりの無音部分は、そのまま録音されます。

録音済みのテープの音を消すには

ソース(音源)をテープにし、停止させてから[TAPE録音]を押す

- 無音のテープができます。

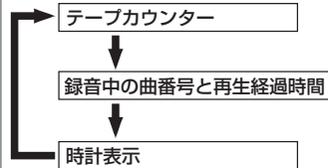
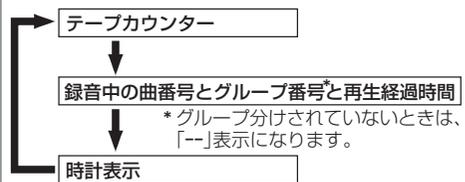
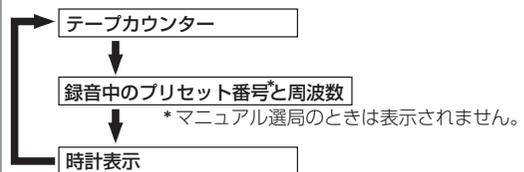
テープカウンターを「0000」にするには

停止状態のとき、カセットホルダーのテープ(▲)取出し部を押して、テープの出し入れをします。テープカウンターは、テープによって多少ズレることがあります。おおよその目安としてお使いください。

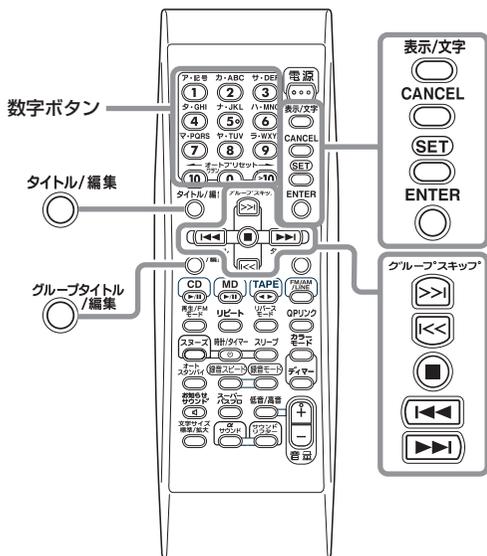
表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに切り換わります。

■ CDを録音中のとき

■ MDを録音中のとき

■ ラジオ放送を録音中のとき

■ LINE接続した他の機器を録音中のとき

タイトルをつける

ディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

準備

ソース(音源)をMDにし、MDを入れます。

1 タイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトルをつけるとき

- 必ず停止のときに操作します。

タイトル/編集 を押す

DISC TITLE?
YES?→SET

SET を押す ➡ **手順 2**へ進みます。

曲タイトルをつけるとき

タイトルをつける曲を選ぶ

グループスキップ >>I 、I<<、I◀◀、▶▶I を押して選ぶ

- [数字ボタン]でも選べます。
- すでにタイトルが入力されているときは、修正・追加・削除ができます。

タイトル/編集 を押す

15 TITLE?
YES?→SET

- 再生中の曲もタイトルをつけられます。

SET を押す ➡ **手順 2**へ進みます。

グループタイトルをつけるとき

グループタイトル/編集 2回押す

GR 1 TITLE?
YES?→SET

- グループ分けされていないMDは「FORM GR?」と表示されます。はじめにグループを作成してください。(☞*37*)

タイトルをつけるグループを選ぶ

グループスキップ >>I 、I<< を押す

GR 1 TITLE ?↔GR 2 TITLE ?↔・・・

- グループ番号を選びます。
- すでにタイトルが入力されているときは、修正・追加・削除ができます。

SET を押す ➡ **手順 2**へ進みます。

2 文字の種類を選ぶ

表示/文字 を押す

(例:ディスクタイトルのとき)

DISC>█
[ア]A a 1

- 押すごとに[ ]が移動します。

[ア](カタカナ) A (英大文字・記号)
a (英小文字・記号) 1 (数字)

3 [数字ボタン]で、文字を入力する

- 文字の入力方法は「**文字入力のしかた**」(☞*33*)をご覧ください。
- 手順2、3を繰り返して入力します。

4 登録する

ENTER を押す

- 「EDITING」が表示されます。

ディスクタイトルのとき

- 曲タイトルの入力表示になります。続けてタイトルをつけるときは、[SET]を押したあと手順2~4を繰り返します。
- 終了するときは[CANCEL]を押します。通常の再生に戻ります。

曲タイトル、グループタイトルのとき

- 続けてタイトルをつけるときは、[SET]を押したあと手順2~4を繰り返します。
- 終了するときは、[CANCEL]を押します。通常モードに戻ります。

5 [MD(▲)]を押してMDを取り出す

- 「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。
- 電源「切」にしたときも「WRITING」が表示されます。

文字入力のしかた

MD

文字を入力するには

[数字ボタン]を繰り返し押して、希望の文字を表示させる

例:「ス」と入力するには

- (3)を繰り返し押して「ス」を表示させます。

入力に使える文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 (1)	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC (2)	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF (3)	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI (4)	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL (5)	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO (6)	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS (7)	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV (8)	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ (9)	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン (0)	ワヲン ゛ ー ゜			0

＊「記号」で入力できる内容

□ スペース(空白)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	＊	＋
,	−	.	／	:	;	<	＝	>	?	@	_	`

・「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。

文字の入力位置を移動するには

(10)または(≧10)を押す

- 「ウエ」や「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、(≧10)を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

[CANCEL]を押す

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、[CANCEL]を押します。

「空白」を入力するには

「記号」からスペース(空白)を選ぶ

- タイトルの末尾では(≧10)を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

[タイトル/編集]または[グループタイトル/編集]を押す

- それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル編集について

- タイトルは、最大61文字までつけることができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、タイトル入力ができません。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDに最大1792文字(英数字・記号)、1曲に最大61文字が入力できます。
ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。「LP:」はつけない設定にすることもできます。(☞***26***、***28***)

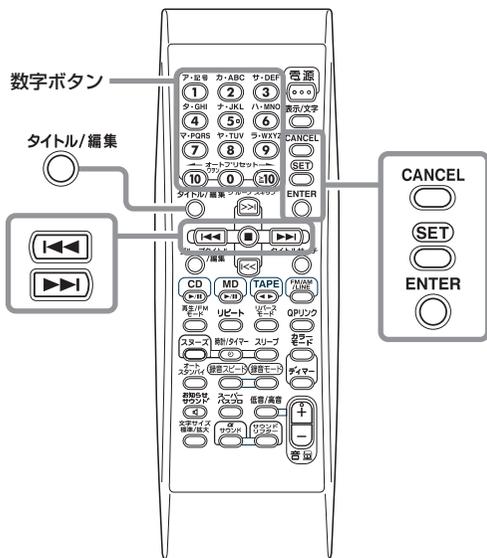
例:
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつ入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつ入力することができます。

お知らせ

- 最大文字数以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

MDへのタイトル入力は

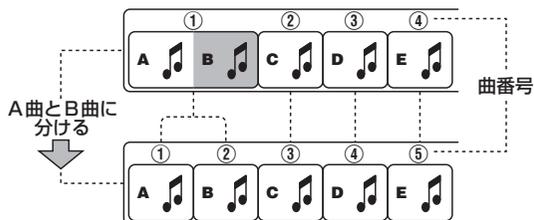
- タイトル入力の操作をしたあとで[MD(▲)]を押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が表示され編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると、「PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは、タイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。
- MDに合計で1793文字以上の文字を入力すると、「CANNOT TITLE」と表示されます。
- 録音中にもタイトルをつけることができます。
  - 録音が終了するまでに[ENTER]が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

曲を編集する

曲（トラック）の編集について

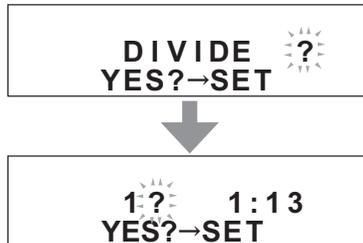
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、編集できません。
- MDで編集操作終了後の「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻ります。また、[タイトル/編集]を押すと編集を中止します。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。

曲を分ける（DIVIDE）

MD

1つの曲を2つに分けることができます。

1 分けたい曲を再生する

2 「DIVIDE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 分けたいところで

SET を押す

- [SET]を押す前に、[▶▶|]/[|◀◀]または[**数字ボタン**]で曲番号を選ぶこともできます。（「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***）
- 押したところから4秒間、繰り返し再生されます。

4 微調整する

現状の位置でよいとき ➡ **手順**5へ

|◀◀ または ▶▶| を押して調整する

- ±128ポジション（SP：標準モードで約±8秒）の範囲で、分けるところを調節できます。

5 SET を押す

6 ENTER を押す

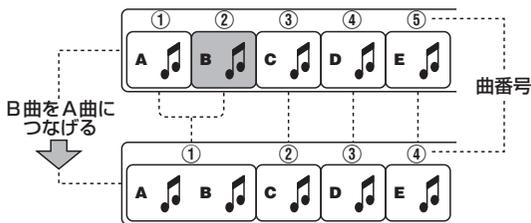
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 254曲録音してあるMDの曲は、「DIVIDE」が表示されません。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲の両方に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる(JOIN)

MD

となり合う2つの曲をつなげることができます。

1 つなげたい2つの曲の後ろの曲(上図の例では2曲目)を再生する

2 「JOIN?」を選ぶ

- [▶▶|]/[|◀◀] または [数字ボタン] で曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使いかた」☞*12*)

3

4 ENTER を押す

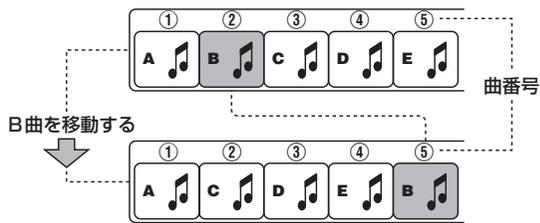
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 以下の曲はつなげません。つなげようとすると、「CANNOT JOIN」と表示されます。(「MDの制約について」☞*48*)
  - MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲
  - デジタル録音した曲(CD)とアナログ録音した曲(ラジオ放送など)
- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を移動する(MOVE)

MD

好きな順番に曲を入れ換えることができます。

1 移動したい曲(上図の例では2曲目)を再生する

2 「MOVE?」を選ぶ

- [▶▶|]/[|◀◀] または [数字ボタン] で曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使いかた」☞*12*)

3

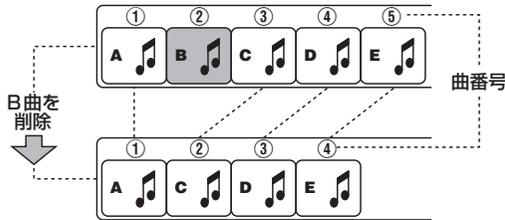
4 移動先の曲番号を選ぶ

- [数字ボタン] で曲番号を選ぶこともできます。
- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないとき、グループ登録された曲を移動するとグループ登録からはずれます。

5

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

曲を削除する（ERASE）

指定した曲を最大15曲まで一度に削除できます。削除すると曲番号はつけ直されます。

1 削除したい曲（上図の例では2曲目）を再生する

2 「ERASE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 SET を押す

✓ 2 ERASE?
NO?→CANCEL

- 削除される曲番号の前に「√」がつきます。
- 間違えたときは[CANCEL]を押して「√」を消します。
- [▶▶|]/[|◀◀]、[数字ボタン]、[SET]を使って15曲まで選ぶことができます。

4 ENTER を2回押す（確認→決定）

<ERASE>
YES?→ENTER

- 本当に削除してもよければ実行します。
- 指定した曲が削除されます。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

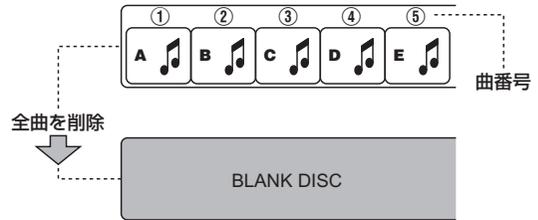
ご注意

- 削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

お知らせ

- 16曲以上削除しようとすると、「MEMORY FULL」が表示されます。

全曲を削除する（ALL ERASE）

全部の曲を一度に削除できます。削除するとブランクディスクになります。

1 MDを停止状態にする

2 「ALL ERASE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

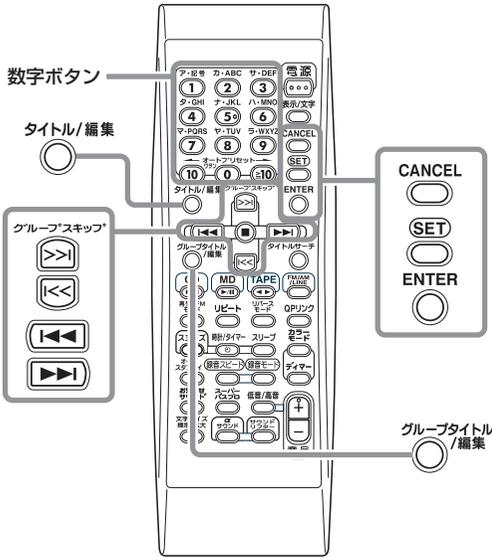
3 ENTER を押す

- 本当に削除してもよければ実行します。
- すべての曲が削除されます。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示されます。その後、「BLANK DISC」と表示されます。

ご注意

- 削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

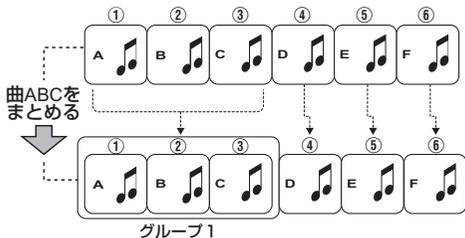
グループ単位で編集する

MD

グループの編集について

- 曲を最大99のグループに分けて管理することができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、編集できません。
- 編集操作終了後の「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻ります。また、[グループタイトル/編集]を押すと編集を中止します。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。

グループをつくる(FORM GR)

MD

新しいグループを作成し、どのグループにも登録されていない連続した曲を新しいグループに登録できます。1曲でもグループを作れます。

1 グループの先頭にしたい曲(下図の例では1曲目)を再生する

2 「FORM GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 または タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- [▶▶I]/[I◀◀]または[数字ボタン]で曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使いかた」☞12)

3 を押す

4 グループの最後にしたい曲を選ぶ

[I◀◀] または [▶▶I] を押して選び SET を押す

- [数字ボタン]で選ぶこともできます。

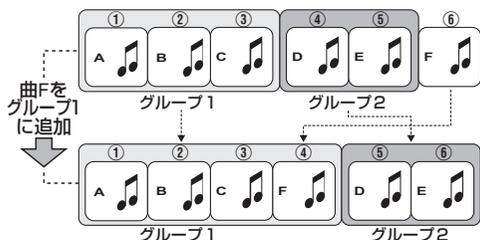
5   を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- すでにグループに登録している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。
- 99グループ作成されている場合、手順3のとき「GROUP FULL」と表示され、次の手順に進めません。

グループに曲を追加する(ENTRY GR)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

1 グループに追加したい曲(上図の例では6曲目)を再生する

2 「ENTRY GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- [▶▶|]/[|◀◀] または [数字ボタン] で曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使いかた」☞12)

3 SET を押す

4 曲を追加したいグループを選ぶ

グループスキップ >>I または I<< を押して選び SET を押す

(上図の例ではグループ1を選びます)

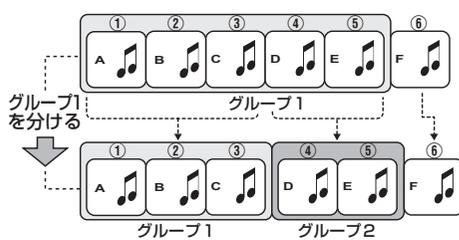
5 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- すでにそのグループに登録している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY」と表示され、次の手順に進めません。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けることができます。グループ番号はつけ直されます。

1 後ろのグループの先頭にしたい曲(上図の例では4曲目)を再生する

2 「DIVIDE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- [▶▶|]/[|◀◀] または [数字ボタン] で曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使いかた」☞12)
- [>>I]/[I<<]でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

4 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

リモコンのボタンの位置は☞**37**をご覧ください。

グループをつなげる(JOIN GR)

MD

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。グループ番号はつけ直されます。

1 つなげたいグループのうち、後ろのグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「JOIN GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- 連続するグループ番号が表示されます。グループがないときは「- -」と表示されます。
- [>>I]/[I<<]でグループ番号を選ぶこともできます

3 SET を押す

<JOIN GR>
YES?→ENTER

4 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、「CANNOT JOIN」と表示され、次の手順に進めません。
- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを移動する(MOVE GR)

MD

1つのグループを指定したところに移動できます。グループ番号はつけ直されます。

1 移動したいグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「MOVE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- [>>I]/[I<<]でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

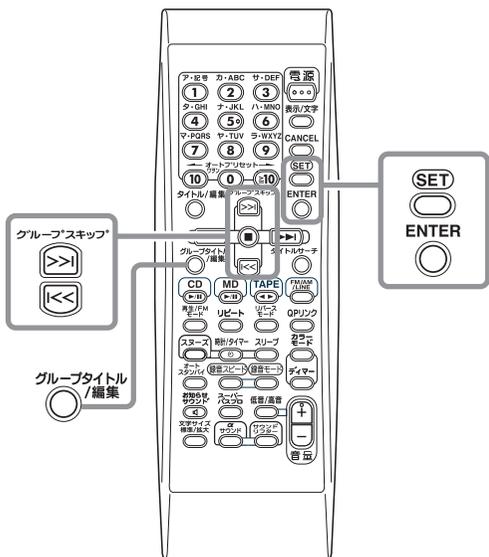
4 移動先を選ぶ

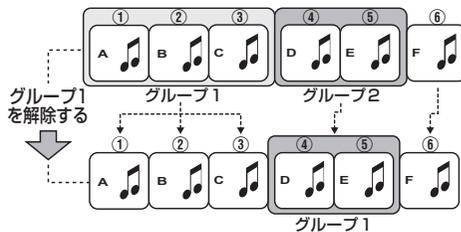
グループスキップ または I<< を押して選び SET を押す

(上図の例ではグループ1を選びます)

5 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

グループ単位で編集する(つづき)

指定したグループを解除する(UNGROUP)

指定したグループを解除できます。解除されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号はつけ直されます。

1 解除したいグループの曲を再生する(上図の例ではグループ1)

2 「UNGROUP?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

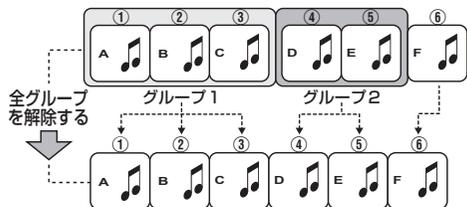
- [>>I]/[I<<]でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

4 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

全グループを解除する(UNGR ALL)（アングループ オール） MD

全グループを解除できます。グループを解除しても曲は削除されません。

1 「UNGR ALL?」を選ぶ

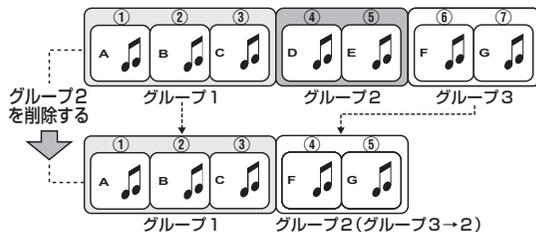
グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- 「UNGR」は「UNGROUP」の略です。

2 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

グループを削除する(ERASE GR)（イレース グループ） MD

グループとそのグループ内の曲を削除します。削除したグループよりあとのグループ番号と曲番号はつけ直されます。

1 削除したいグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「ERASE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

- [>>I]/[I<<]でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

<ERASE GR>
YES?→ENTER

4 ENTER を押す

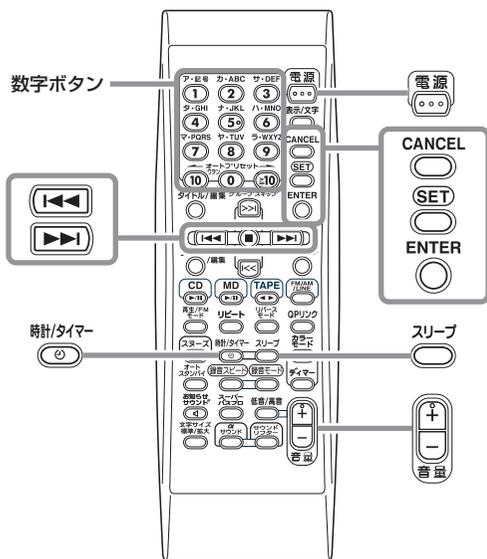
- 本当に削除してもよければ実行します。
- 指定したグループ(曲)が削除されます。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

ご注意

- 一度削除したグループ(曲)は、戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

タイマーを使う

準備

- タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください。(☞*12*)

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

スリープ を押す

- 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切り換わります。

→10→20→30→60→90
消える(解除)←150←120←

(例:おやすみタイマーを60分にしたとき)

スリープ表示

設定した時間を変更するには

[スリープ]を繰り返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、[スリープ]を1回押します。

お知らせ

- おやすみタイマーを設定すると、ディマー機能の「DIMMER 2」の状態(☞*47*)になり、表示窓が暗くなります。(カラーモードが「RANDOM COLOR」以外のとき)
- 時計を合わせていないとき(「0:00 SUN.」が点滅)に[スリープ]を押すと、「CLOCK ADJUST!」と点滅表示されます。

録音タイマー

ラジオ放送またはLINE接続した他の機器の音声を、MDまたはテープにタイマー録音できます。
タイマーは、録音タイマーと再生タイマー(☞*44*)を合わせて4つまで設定できます。

準備

- 録音したいソース(音源)を準備します。

ラジオ	録音タイマーしたい放送局をプリセットしておく(☞*15*)
他の機器	LINE INに接続し、その機器の説明書に従う

- MDに録音するときは、録音用のMDを入れます。
- テープに録音するときは、録音用のテープを入れます。
- 録音モードを設定しておきます。(☞*25*)

1 「TIMER1～TIMER4」のいずれかを選ぶ

時計/タイマー を繰り返し押して SET を押す

(例:TIMER1のとき)

2 開始時刻と終了時刻を設定する

⏮ または ⏭ を押して選び SET を押す

(例:午前6:30～6:45まで録音したいとき)

- 時刻の設定方法は「**時計を合わせる**」(☞*12*)の手順 2～4をご覧ください。

3 「WEEKLY」または「ONCE」を選ぶ

⏮ または ⏭ を押して選び SET を押す

WEEKLY :毎週または毎日動作します。
ONCE :1回だけ動作します。

(例:WEEKLYを選んだとき)

4 動作させたい曜日を選ぶ

⏮ または ⏭ を押して選び SET を押す

「WEEKLY」を選んだとき
「SUN.」(日)～「SAT.」(土)
「MON.-FRI.」(月～金)
「MON.-SAT.」(月～土)
「EVERYDAY」(毎日)から選べます。

「ONCE」を選んだとき
「SUN.」(日)～「SAT.」(土)から選べます。

5 「REC TIMER」を選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び を押す

6:30- 6:45
REC TIMER

● 「REC」は「Recording(録音)」の略です。

6 録音したいソース(音源)と録音先の組み合わせを選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び SET を押す

(例:FM放送をMDに録音したいとき)

FM → MD

● ラジオ放送を録音するときは、[▶▶|]/[|◀◀] または [数字ボタン] を押して録音したい放送局のプリセット番号を選び、[SET] を押します。(「数字ボタンの使いかた」☞12)

● 設定が終了すると、表示窓に設定した内容が表示されます。

ソース(音源)と録音先の組み合わせ

ソース(音源)	録音先	表示窓
FM	MD	FM→MD
AM		AM→MD
LINE		LINE→MD
FM	テープ	FM→TAPE
AM		AM→TAPE
LINE		LINE→TAPE

7 電源を「切」にする

を押す

SEE YOU

● タイマーは電源「切」のとき動作します。

録音タイマーを解除するには

[時計/タイマー] を押して、解除したいタイマー番号を選び [CANCEL] を押す

● タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

録音タイマーを再設定するには

[時計/タイマー] を押して、再設定したいタイマー番号を選び [ENTER] を押す

● 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「切」にしてください。

設定内容を確認するには

[時計/タイマー] を押して確認したいタイマー番号を選び [SET] をくり返し押す

● 押すごとに表示窓に設定内容が表示されます。

● LINE接続機器の音声を録音する場合、タイマー機能付き機器を使用してください。

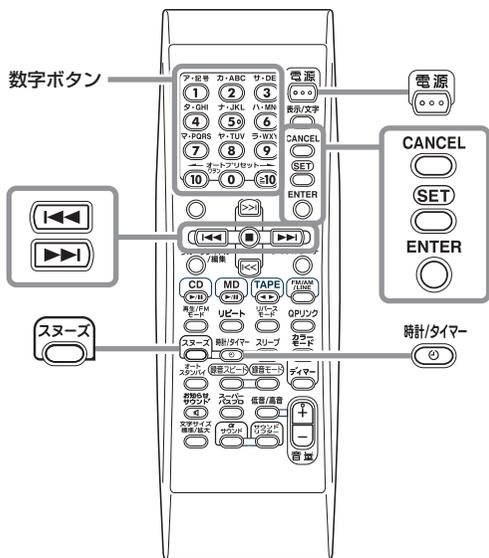
● LINE接続機器を録音するときは、QPリンクを「OFF」にしてください。

● 録音中は音が出ません。音を聞きたいときは [音量] で調節してください。

● タイマー1からタイマー4に設定した内容は、改めて設定し直さない限り記憶されています。

● 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時間を設定してください。

● 電源プラグをはずしたり、停電などのときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーを設定し直してください。

タイマーを使う(つづき)

再生タイマー

準備

● 再生したいソース(音源)を準備します。

CD	CDを入れる
MD	MDを入れる
テープ	テープを入れておく
ラジオ	タイマー再生したい放送局をプリセットしておく(☞*15*)
他の機器	LINE INに接続し、その機器の説明書に従う

1 「録音タイマー」(☞**42**)の手順 1～4を行う

2 「PLAY TIMER」を選ぶ

[◀◀] または [▶▶] を押して選び SET を押す

```
6:30 - 6:45
PLAY TIMER
```

3 再生したいソース(音源)を選ぶ

[◀◀] または [▶▶] を押して選び SET を押す

● 押すごとに切り換わります。

4 再生したい放送局または曲を選ぶ

● ラジオ放送を聞きたいときは、[▶▶]/[◀◀]または[**数字ボタン**]を押して放送局のプリセット番号を選びます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞**12**)

● CDまたはMDを再生したいときは、[▶▶]/[◀◀]または[**数字ボタン**]を押して曲番号を選びます。

5 再生する音量を調節する

● VOLUME0～35の範囲で設定できます。

● [**数字ボタン**]でも設定できます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞**12**)

● 設定が終了すると表示窓に設定した内容が表示されます。

6 電源を「切」にする

● タイマーは電源「**切**」のとき動作します。

再生タイマーを解除するには

[時計/タイマー]を押して、解除したいタイマー番号を選び[CANCEL]を押す

● タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

再生タイマーを再設定するには

[時計/タイマー]を押して、再設定したいタイマー番号を選び[ENTER]を押す

● 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「**切**」にしてください。

設定内容を確認するには

[時計/タイマー]を押して確認したいタイマー番号を選び[SET]をくり返し押す

● 押すごとに表示窓に設定内容が表示されます。

お知らせ

- LINE 接続機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- LINE 接続機器を再生するときには、QPリンクを「OFF」にしてください。
- 再生タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなり設定した音量になります。（ウェイクアップボリューム機能）
- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時間を設定してください。
- 電源プラグをはずしたり、停電などのときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーを設定し直してください。

スヌーズ機能

再生タイマー動作中に、一時的に音声出力を止めることができます。目覚ましタイマーとして使用するときの寝過ごし防止にご利用ください。

設定する

スヌーズモードを「ON」にする

を押す

スヌーズ表示
「ON」のとき点灯
動作中は点滅

SNOOZE

SNOOZE ON

- 押すごとに「ON」「OFF」が切り換わります。

  SNOOZE ON :スヌーズ機能有効
  SNOOZE OFF :スヌーズ機能無効
  （お買い上げ時の設定）

- 本体の [**時計表示／スヌーズ**] を2秒以上押しても切り換えできます。

スヌーズ機能を使う

再生タイマー動作中に

本体の

を押す

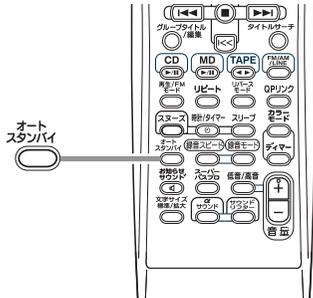
- 消音し、5分間経過すると徐々に音声が出ます。
- 再生タイマー動作中は、何回でも働きます。
- スヌーズ動作中は、表示窓が時計表示になり、明るさは「DIMMER 2」(☞***47***)になります。（暗くなります）

お知らせ

- スヌーズ動作で消音したとき [**音量**] を押すと音声が出て音量の調節ができます。本体の [**音量つまみ**] でも操作できます。
- 時計を合わせていないとき（「0:00 SUN.」が点滅）に [**スヌーズ**] を押すと、「CLOCK ADJUST!」と点滅表示されます。

その他の機能

オートスタンバイ機能を使う

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

ソース(音源)がFM/AM以外のときに

 を押す

A.STANDBY SET

A.STANDBY

オートスタンバイ表示

オートスタンバイの動作

CD、MD、テープを再生または録音しているとき:

再生または録音が終わると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。

再生または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

LINE接続機器の音声を聞いているとき:

無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分以上無音が続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の文字情報表示部に「**A.STANDBY OFF**」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除するには

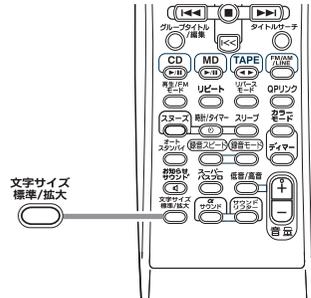
[オートスタンバイ]を押す

- 「**オートスタンバイ**」表示が消灯します。

お知らせ

- 音量(ボリューム)を「0」にした状態は、オートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。
- LINE IN端子に接続した他の機器の音声を聞いているとき、入力される音声信号レベルが小さいと、オートスタンバイ機能が働くことがあります。

表示文字を大きくする

表示窓の表示を大きくすることができます。(拡大表示)

 を押す

- 押すごとに、拡大での表示と標準での表示が変化します。

(標準表示)

CD 1 0:03

(拡大表示)

CD 1

お知らせ

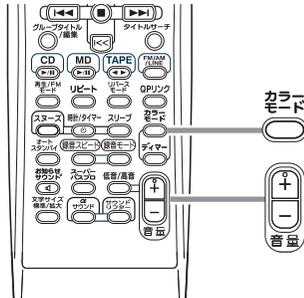
次のときは、表示選択に関わらず拡大表示されます。

- 「**HELLO、SEE YOU**」表示
- 時計表示(電源「**切**」のとき)
- ソース(音源)を切り換えたときのソース名表示
- 録音開始直後の「ソース→録音先」表示
- 録音終了(「**REC FINISH**」)表示

次のときは、拡大表示されません。

- カタカナ表示
- 2行合わせて意味を成す表示
  例 :REC REMAIN表示
  PAUSE中表示
  カラーモード表示

カラーモードを変える

表示窓をお好みの色に変えることができます。

 を押して選び [音量] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

ALL	ソース(音源)共通でお好みの色に設定できます。
↓ RANDOM COLOR	ソース(音源)共通でランダムに変化します。
↓ ソース(音源)	ソース(音源)ごとにお好みの色に設定できます。(お買い上げ時の設定)

- 「**ALL**」および「**ソース(音源)**」を選んだときは、**[音量]**を押してお好みの色に調節します。

(例:RC-A1-Sで「ALL」の場合)

BLUE(青)　RED(赤)

[音量]を押すとバーが左右に移動し、色が変わります。

- 「**ソース(音源)**」ごとに設定するときは、ソース(音源)を選んでから操作してください。
- 本体のときは**[カラー／デモ]**を押して、**[音量つまみ]**を回して調節します。

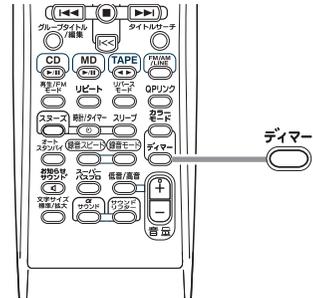
ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。

お知らせ

- RC-A1-SとRC-A1-Wは表示窓の色が異なります。
  RC-A1-S ：青(B)／赤(R)
  RC-A1-W ：緑(G)／アンバー(A)

明るさを変える(ディマー機能)

表示窓の明るさを変えることができます。

[ディマー] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

DIMMER 1	：やや暗くなる
↓ DIMMER 2	：さらに暗くなる
↓ DIMMER OFF	：ディマー解除(お買い上げ時の設定)

お知らせ

- カラーモードが「**RANDOM COLOR**」のときは、自動的に「**DIMMER OFF**」になります。また、ディマーの設定もできません。

チャイルドロック

CDやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

電源「切」のときに

本体の [■] を押しながら本体の [▲]CD を押す

LOCKED

- 本体の[CD(▲)]または[MD(▲)]を押すと、「LOCKED」と表示され、CDやMDを取り出せなくなります。電源「**切**」のときに押すと「LOCKED」と表示され電源は入りません。

チャイルドロックを解除するには

もう一度、上記の操作をする

UNLOCKED

制約について

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。 曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 (録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作を繰り返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて時間の短い部分(SP：8秒以下、LP2：16秒以下、LP4：32秒以下)ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音時間のモードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。 デジタル録音した曲とアナログ録音した曲も「JOIN」でつなげることはできません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でもSP:12秒、LP2:24秒、LP4:48秒の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

倍速録音に関して(HCMS)

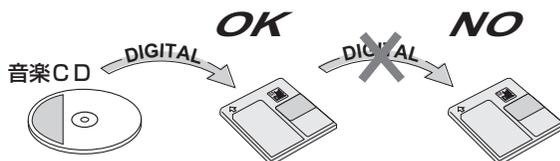
MDは等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の倍速録音はできません。

例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音をすることができます。

SCMS (Serial Copy Management System)
(シリアル コピー マネージメント システム)

CDのクリアな音をデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメントシステム)といいます。シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

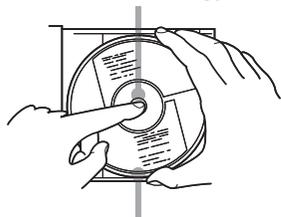
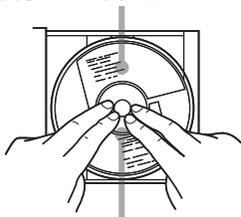
あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意

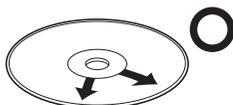
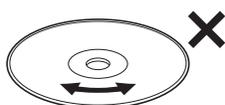
- この規定により一度デジタル録音されたMDからは、他のMDへデジタル録音することはできません。
- CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。

CD、MD、テープの取り扱いについて

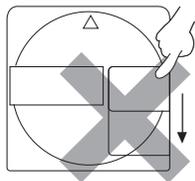
CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。
● ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

● **シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。**

MDの取り扱いかた

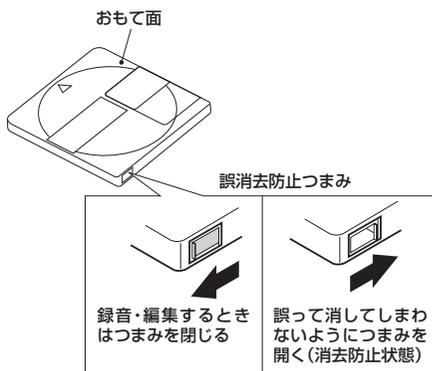
シャッターは開けないで
無理に開けようとするとMDがこわれます。

置き場所に気をつけて
次のようなところには置かないでください。

● 直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
● 風呂場など湿気の多いところ
● 海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ

ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

大切な録音を消さないために(MD)

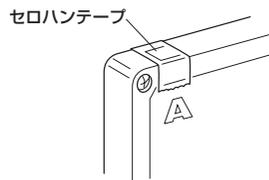
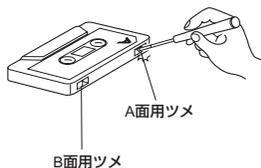
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。

● 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
● MDは ▷ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープの取り扱いかた

● テープに**たるみ**がありますと、巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。
● テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

大切な録音を消さないために(カセットテープ)

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

● **ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。**
● **再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。**

はじめに
準備
基本操作
聞く
録音する
編集する
便利な機能
その他

故障かな？と思ったら – 修理に出す前にもう一度お確かめください。–

	症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	● ヘッドホンがつながれている。	● ヘッドホンのプラグを抜く。	*11*
	表示窓の時刻と曜日表示が点滅している。	● 20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	● 時計合わせやタイマーの予約をし直す。	*12*
CDプレーヤー部	再生が始まらない。	● CDが裏返しに入っている。	● 文字のある面が上になるように正しく入れる。	*16*
		● レンズに露がついている。	● 電源を入れたまま、1～2時間待ち乾いてから使う。	*7*
	音飛びがする。	● CDにキズがある。	● CDを交換する。	-
MDレコーダー部	再生が始まらない。	● レンズに露がついている。	● 電源を入れたまま、1～2時間待ち乾いてから使う。	*7*
	倍速録音ができない。	● CDのプログラム再生、ランダム再生になっている。	● **[再生/FMモード]**を押してプログラム再生、ランダム再生を解除する。	*19* *20*
	編集操作ができない。	● 再生モード(**PRGM**、**RANDOM**または**GROUP**)がオンになっている。	● **[再生/FMモード]**を押して再生モードを解除する。	*19*
テープデッキ部	再生音が小さい。	● ヘッドが汚れている。	● ヘッドを清掃する。	*7*
	TAPE録音ボタンを押しても録音状態にならない。	● カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	● セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ。	*49*
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	● アンテナの調節が不充分。	● アンテナの調節をし直す。または本機の設置場所を変える。	*10*
		● AMループアンテナ線の接続が違う。	● 白線側を**[AM EXT]**側に接続する。	*10*
タイマー部	タイマーがスタートしない。	● 電源が「**入**」になっている。 ● 現在時刻と曜日が合っていない。	● 電源を「切」にする。 ● 正しい時刻と曜日に設定し直す。	*13* *12*
		● タイマー表示(⊙)とタイマー番号(1～4)が表示されていない。	● **[時計／タイマー]**を押してタイマー表示(⊙)とタイマー番号(1～4)を表示させ、再設定する。	*42* *44*
リモコン	リモコン操作ができない。	● リモコンの乾電池が消耗している。	● 新しい乾電池(単3形)と交換する。	*9*
		● リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	● 直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	*7*

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により録音・再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

● メッセージ一覧表（MDおよびCDのとき）

メッセージ	意　　味	処　　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	――――
CANNOT JOIN	MDのシステム上の制約です。	「**MDの制約について**」をご覧ください。（☞***48***）
	離れているグループをつなげようとした。	となりあうグループとつなげてください。（☞***39***）
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量·音質調節をしようとした。	倍速録音中は、CDの再生音が出ません。終わるまで待ってください。
CANNOT REC NORMAL ONLY	倍速録音ができない。 倍速録音に失敗した。	等速録音にしてください。
CANNOT TITLE	MDに入力できる文字数（合計で1792文字）を越えている。	1792文字以下にしてください。
CANNOT PLAY	再生できないディスク（DVDディスク、ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスク、再生可能なファイルが記録されていないCD-R/CD-RWディスク、何も記録されていないCD-R/CD-RWディスク）が入っている。	本機はDVDディスクには対応していません。ファイナライズされたCD-R/CD-RWディスク、または再生可能なファイル（☞***7***）が記録されたCD-R/CD-RWディスクに取り換えてください。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超えている。 （254曲まで録音可能）	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生した。	電源を入れ直してください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作成してください。（☞***37***）
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つかまたは等速録音にしてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON －AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音·編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
READ ERROR	MDが異常（損傷している）。	MDを取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	デジタルのコピーのコピーを作ろうとした。	自動でアナログ録音に切り換わります。（☞***24***、***48***）
TRACK PROTECTED	他の機器でDIVIDE、JOINまたは消去ができないようになっている。	本機では解除できません。録音した機器で編集操作してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

CD-MDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または**53**ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

50ページの**「故障かな？と思ったら」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　　　）　　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

別売のオプション品

・ヘ ッ ド ホ ン：**HP-S35**
・電 源 コ ー ド：**CN-325A**（長さ1.8m）
・接 続 コ ー ド：**CN-203A**（**LINE**端子の接続用）
・MDレンズクリーナー：**CL-MLA**
・FMフィーダーアンテナ：**CN-511A**（**300Ω**）
（アンテナコネクター：**VZ-71A**と一緒に使います）
・アンテナコネクター：**VZ-71A**（**75Ω/300Ω**）

- 別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。
- この製品の製造時期は本体の裏面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北海道		
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北		
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	関東・甲信越		
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	東海		
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18
	北陸		
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
	近畿		
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
	中国		
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国		
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0706

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz～20 kHz

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音時間のモード SP ： 80分 LP2 ：160分 LP4 ：320分 （MD80使用時）
サンプリング周波数	44.1 kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD LP）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz～20 kHz

チューナー部

受信周波数	FM：76.0 MHz ～108.0 MHz AM：531 kHz～1,629 kHz
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型／ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

テープレコーダー部

トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音・再生（ハードパーマロイ） コンビネーション×1
早巻時間	約200秒（C-60）
周波数範囲	ノーマルテープ ：60 Hz～12.5 kHz（JEITA）

タイマー部

タイマー形式	4プログラム動作（オン・オフタイマー） （WEEKLY/ONCE切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分 （ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

共通部

スピーカー	8cm（丸形×2）、4 Ω
入力端子	LINE IN（φ3.5ステレオミニ×1） 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子	LINE OUT（φ3.5ステレオミニ×1） 250 mV/2.5 kΩ PHONES（φ3.5ステレオミニ×1） 15 mW ＋15 mW / 32 Ω 適合インピーダンス16 Ω～1 kΩ
実用最大出力	4 W＋4 W（JEITA/AC）
電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz共用）
消費電力	電源 入（ON）時26 W 切（STANDBY）時0.9 W
最大外形寸法	幅460 ㎜×高さ188 ㎜×奥行268㎜
質量	約5.6 kg

● JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

数字

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい製品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/audio/

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
53ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話（045）450−8950** **FAX（045）450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、***52*** ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221- 8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0806NYMSANJEM